

面ヲ添附スヘシ

- 一 登記簿ノ種類
- 二 閲覧セント欲スル登記事項
- 三 登記所ノ表示
- 四 年月日

第十二條 登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

- 一 登記簿ノ種類
- 二 謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記事項
- 三 手数料ノ金額
- 四 登記所ノ表示
- 五 年月日

登記簿ノ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲモ記載スヘシ

第十三條 登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書ニ通ヲ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項及ヒ年月日ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ
登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

第十四條 登記ノ申請ハ申請人又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スヘシ

第十五條 登記官吏カ申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、(會社カ申請人ナルトキハ其商號)受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

第十六條 申請書其他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及ヒ受附番號ヲ記載スヘシ

非訟事件手續法附錄 商標登記取扱手續

第十七條 登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スヘシ

第十八條 登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及ヒ登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其空欄ニ朱線ヲ交叉スヘシ但後日登記スルコトアルヘキ事項ノ爲メ設ケタル欄ニ付テハ此限ニ在ラス

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載シタル場合ニ於テ同欄内ニ餘白アルトキハ其餘白ニ朱線ヲ交叉スヘシ

變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其左側ニ縦線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

第十九條 變更ノ登記又ハ登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正シタル登記事項ヲ朱抹スヘシ

第二十條 登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スヘシ

第二十一條 商法第五十一條第二項、第五十二條第一項、第八十一條又ハ第一百十八條

第二項等ノ規定ニ依リ同法第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ豫備欄ニ其事由ヲ記載スヘシ

非訟事件手續法第三百三十五條ノ二及ヒ第三百三十五條ノ三ニ定メタル營業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ノ登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

同法第五百十三條及ヒ第七十條第二項ノ規定ニ依リ商業登記ニ記載スヘキ事項ハ豫備欄ニ之ヲ記載スヘシ

保險ヲ營業トスル株式會社設立費用償却ノ方法ノ登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ（三十三年司法省令第二十號ヲ以テ本項追加）

私設鐵道法第十四條第一項ノ規定ニ依ル本免許ノ年月日及ヒ第三十五條第三項ノ規定ニ依ル合併ノ認可ヲ受ケタル年月日ハ豫備欄ニ之ヲ記載スヘシ（同上）

第二十二條 社債又ハ資本若クハ株金ノ増加ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ事項ニ付キ更

ニ登記ヲ爲スヘキトキハ變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第二十三條 非訟事件手續法第百四十八條ノ規定ニ依リ登記ノ更正ノ申請アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第二十四條 登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其番號ノ第二ナルコト並ニ前用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ其繼續用紙ナルコトヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字並ニ新用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ
前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍ホ之ニ登記ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第二十五條 登記ヲ爲シ又ハ申請書其他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ

金錢其他ノ物ノ數量、年月日及ヒ番號ヲ記載スルニハ壹貳參拾ノ字ヲ用ユヘシ
文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若シ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其削除ニ係ル文字ハ尙ホ讀得ヘキ爲メ字體ヲ存スヘシ

第二十六條 登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第二十七條 登記ノ申請人ハ登記濟證ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

登記官吏カ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ附錄第二十二號雛形ニ依リ登記濟證ヲ交付スヘシ

第二十八條 商業登記簿ノ見出帳ハイロハ順ニ依リ豫メイノ部ヨリスノ部マテヲ設ケ置キ登記用紙ニ登記番號ヲ記載スル毎ニ登記用紙ヲ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及ヒ登記番號ヲ記入スヘシ

第二十九條 登記用紙ヲ閉鎖シタルトキハ見出帳中備考欄ニ其事由ヲ記載シテ其見出

ヲ朱抹スヘシ

第三十條 商號ノ變更又ハ未成年者、妻、後見人若クハ支配人ノ氏名ノ變更ノ登記ヲ爲シタルトキハ見出帳中更ニ相當ノ部ニ其見出ヲ移シ前ノ見出ノ備考欄ニ第何冊第何丁ニ移シタル旨ヲ記載シテ其見出ヲ朱抹スヘシ

第三十一條 甲登記所ノ管轄地ノ一部カ乙登記所ノ管轄ニ轉屬シタルトキハ甲登記所ハ其部分ニ屬スル登記簿又ハ其謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ヲ乙登記所ニ移送スヘシ但登記簿ノ謄本ニハ現存セル登記ノミヲ謄寫スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ甲登記所ノ登記用紙中豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉出シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第三十二條 前條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本及ヒ附屬書類又ハ其謄本ノ移送ヲ受ケタルトキハ乙登記所ハ登記簿ノ謄本ニ依リ登記簿ニ登記ヲ移スヘシ

登記簿ニ登記ヲ移スニハ登記用紙中登記番號欄ニ其登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ追

ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其左側ニ前登記管轄ノ表示ヲ爲シ前登記番號ヲ記載シ豫備欄ニ管轄變更ニ因リ轉入シタル旨及ヒ其年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第三十三條 會社ノ商號ハ商號登記簿ニ登記スルコトヲ要セス

第三十四條 同一ノ當事者ヨリ數箇ノ商號ノ登記ノ申請アリタルトキハ各商號ニ付キ各別ノ登記用紙ニ登記ヲ爲スヘシ

第三十五條 商業ヲ營ム未成年者カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ未成年者ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十六條 商業ヲ營ム妻カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ妻ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ其夫ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十七條 被後見人ノ爲メニ商業ヲ營ム後見人カ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其登記事項カ後見人ノ死亡ニ因リ消滅シタルトキハ後見監督人ヨリ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

第三十八條 前三條ノ場合ニ於テハ申請書ニ登記事項ノ消滅シタルコトヲ證スルニ足

ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第三十九條 數人ノ支配人ノ登記ノ登記アリタル場合ニ於テハ各別ノ登記用紙ニ登記ヲ爲スヘシ

第四十條 登記ヲ爲シタル未成年者、妻若クハ後見人ノ營業所又ハ支配人ヲ置キタル營業所カ登記所ノ管轄外ニ移轉シタルトキハ登記用紙中消滅欄ニ其登記ヲ爲シ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ他ノ營業所アル場合ニハ之ヲ適用セス

第四十一條 商號ノ登記ヲ爲シタル者ノ營業所カ商號ノ效力ヲ有スル區域外ニ移轉シタルトキハ登記用紙中消滅欄ニ其登記ヲ爲シ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十二條 前條ノ規定ハ市町村又ハ商號ノ登記ノ效力ニ付キ市町村ニ準スヘキ區域ノ變更ニ因リ商號ノ登記ノ效力カ消滅シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十三條 合資會社ノ社員ノ氏名、住所、出資及ヒ責任ノ登記ハ登記簿ノ末尾ニ編

綴セル用紙ニ之ヲ爲スヘシ其登記事項ノ變更又ハ消滅ノ登記ニ付テモ亦同シ

第四十四條 會社カ其本店又ハ支店ヲ登記所ノ管轄外ニ移轉シタル場合ニ於テ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

前項ノ規定ハ登記所ノ管轄内ニ本店又ハ他ノ支店アル場合ニハ之ヲ適用セス

第四十五條 會社登記簿ニ清算終了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十六條 登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其原本ト共ニ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏カ書類ノ原本ヲ還付スルトキハ其謄本ニ原本還付ノ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第四十七條 外國會社ノ登記ハ其會社ト同種ノ會社ノ登記簿又ハ最モ之ニ類似セル會社ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ

登記スヘキ事項ノ名稱カ或欄ノ表示ニ適合セサルトキハ最モ之ニ類似セル欄ニ記載

シタル上其名稱ヲ附記スヘシ

第四十八條 外國會社ノ支店ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中豫備欄ニ之ヲ爲シ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十九條 商法施行前ニ登記シタル事項ノ變更若クハ消滅ノ登記又ハ商法施行前ニ設立ノ登記ヲ爲シタル會社ニ付キ商法施行法ノ規定ニ依リ其會社ノ登記ニ追加スヘキ事項ノ登記ハ從來ノ登記簿ニ之ヲ爲スヘシ但從來ノ登記簿用紙中相當ノ欄ナキ事項ニ付テハ變更欄ニ其登記ヲ爲スヘシ

第五十條 不動産登記法施行細則第四條、第五條、第十二條、第十三條、第二十條乃至第二十四條、第二十七條、第三十三條乃至第三十九條、第四十七條、第五十一條、第七十一條第一項及ヒ第七十四條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

●法律上ノ代位ニ付キ登記申請ノ手續 (明治三十九年六月二十一日法律第五十五號)

第一條 債權者カ民法第四百二十三條ニ依リ債務者ニ代位シテ登記ヲ申請スルニハ不

動産登記法第三十五條第一項ニ掲ケタル書面ノ外代位原因ヲ證スル書面ヲ提出シ且申請書ニ同法第三十六條ニ記載シタル事項ノ外債權者ノ住所氏名若債權者カ法人ナルトキハ其名稱並事務所及代位原因ヲ記載シ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第二條 前條ノ申請アリタル場合ニ於テ事項欄ニ登記ヲ爲スニハ不動産登記法第五十條第二項ニ依ルノ外債權者ノ氏名住所又ハ名稱並事務所及代位原因ヲ記載スルコトヲ要ス

第三條 登記官吏カ登記ヲ完了シタルトキハ不動産登記法第六十條第一項ニ掲ケタル書類ヲ債權者ニ還附シ且登記濟ノ旨ヲ登記權利者ニ通知スルコトヲ要ス
不動産登記法第六十三條ノ通知ハ債權者ニ亦之ヲ爲スコトヲ要ス

實例競賣法
同附錄

實例競賣法

肥田健吉編

第一章 通則

第一條 競買ノ申込ハ他ノ高價競買ノ申込アリタルトキ又ハ競落ヲ爲サスシテ競賣ヲ終了シタルトキハ當然其效力ヲ失フ

第二條 競買人ハ競落ニ因リテ競賣ノ目的タル權利ヲ取得ス
競賣ノ目的ノ上ニ存スル先取特權及ヒ抵當權ハ競落ニ因リテ消滅ス
競買人ハ留置權者、競買人ニ對シテ優先權ヲ有スル質權者及ヒ其質權者ニ對シテ優先權ヲ有スル債權者ニ辨濟スルニ非サレハ競賣ノ目的物ヲ受取ルコトヲ得ス

第二章 動産ノ競賣

實例競賣法 通則 動産ノ競賣

第三條 動産ノ競賣ハ留置權者、先取特權者、質權者其他民法又ハ商法ノ規定ニ依リ

テ其競賣ヲ爲サントスル者ノ委任ニ因リ競賣ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所所屬ノ執達吏

之ヲ爲ス民、二九五乃至三〇二、三〇三乃至三二四、三三〇乃至三三五、三五八、四九七、一〇三三、三五二乃至三五九

前項ノ委任ハ書面ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス商、二八九、一、六一〇、一一八、二

委任書(其他委任スル他ノ競賣モ之ニ準ス)

競賣ニ付ス株式

一金何圓 番 何號 株主氏名 何枚

右何株式會社株主氏名ノ株式ナルカ會社ノ拂込ミ期日ナル年月日ニ拂込ナサ、ルヲ以テ何區裁判所所屬ノ執達吏氏名ニ競賣ニ付スルコトヲ委任ス

年月日 何株式會社長 氏 名

第四條 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ハ其競買人ト爲ルコトヲ得ス

債權者ノ委任ニ因リテ競賣ヲ爲ス場合ニ於テハ債務者ハ現金ヲ以テ代價ヲ提供スル

ニ非サレハ其競買ノ申込ヲ爲スコトヲ得ス

第五條 競賣ハ競賣ニ付スヘキ物ノ所在地ニ於テ之ヲ爲ス但其地ニ於テ相當ノ代價ヲ

得ル見込ナキトキハ他所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第六條 競賣ノ日時ハ執達吏カ其委任ヲ受ケタルトキ直チニ之ヲ定ムルコトヲ要ス但

直チニ之ヲ定ムルコト能ハサル事情アルトキハ此限ニ在ラス

第七條 競賣ノ場所及ヒ日時ハ豫メ之ヲ公告スルコトヲ要ス

公告ハ競賣ニ付スヘキ物ノ品質及ヒ價格ニ準シ競賣地ニ於ケル適當ノ方法ヲ以テ之

ヲ爲スヘシ

公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 競賣委任者ノ氏名、住所
- 二 競賣ニ付スヘキ物ノ種類、數量及ヒ品質
- 三 競賣ノ條件ヲ定メタルトキハ其條件
- 四 競賣ノ場所及ヒ年月日時

實例競賣法 動産ノ競賣

五 競賣ノ委任ヲ受ケタル執達吏ノ氏名、住所

委任者カ競賣ノ條件ヲ定メサリシトキハ民事訴訟法第五百七十七條第三項ノ規定ヲ準用ス

公 告

何々會社又ハ(氏名ノ)委任ニ因リ競賣ヲ爲ス

一 競賣委任者 住所、氏名

一 競賣物件 株式 何々

何々動産(品實數料)

一 何々ノ條件ヲ付ス (條件ア
ラハ)

一 競賣ノ場所 何市町村番地

年月日時

一 何市町村番地執達吏 氏名

右公告ス

何區裁判所執達吏

氏

名

第八條 競賣ノ場所及ヒ日時ハ競賣ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ニ對シテ其通知ヲ發

スルコトヲ要ス但通知ヲ受クヘキ者ノ住所又ハ居所カ知レサルトキハ此限ニ在ラス

第九條 公告ト競賣トノ間ニハ五日以上ノ期間ヲ存スルコトヲ要ス但競賣ニ付スヘキ

物ニ關シ之ヨリ速ニ競賣ヲ爲スコトヲ要スル特別ノ事情アルトキハ此限ニ在ラス

第十條 高價品ノ競賣ハ鑑定人ヲシテ其評價ヲ爲サシメタル後之ヲ爲スコトヲ要ス

評價書

一 何々物件

評價金何圓也

右執達吏氏名ノ委託ニ因リ評價スル價格也

年 月 日

鑑定人

氏

名

第十一條 金銀及ヒ金銀ノ製品ハ地金銀ノ相場以下ノ代價ヲ以テ之ヲ競賣スルコトヲ得ス

取引所ノ相場アル物ハ其相場以下ノ代價ヲ以テ之ヲ競賣スルコトヲ得ス

第十二條 前條ニ掲ケタル物ヲ競賣スル場合ニ於テ競賣ノ日ニ相當ナル競賣ノ申込ナ

實例競賣法 動産ノ競賣

キトキハ執達吏ハ金銀及ヒ金銀ノ製品ニ付テハ地金銀ノ相場以上ノ代價、取引所ノ相場アル物ニ付テハ競賣ノ日ノ相場以上ノ代價ヲ以テ任意ニ之ヲ賣却スルコトヲ得

第十三條 競賣ハ其條件ヲ告知シ各競賣物ニ付キ競買ノ申込ヲ催告スルニ始マリ最高價競買ノ申込人ニ對シ競落ノ告知ヲ爲スニ因リテ終了ス

競落ノ告知ハ最高價競買ノ申込ヲ三回呼上ケタル後之ヲ爲ス

第十四條 執達吏ハ競賣調書ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シ署名、捺印スヘシ

- 一 競賣委任者ノ氏名、住所
- 二 競賣ニ付スヘキ物ノ種類、數量及ヒ品質
- 三 鑑定人ヲシテ評價ヲ爲サシメタルトキハ其評價額
- 四 競賣ノ場所及ヒ日時
- 正 第九條但書ノ事由アリタルトキハ其事由
- 六 利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知ヲ發シタルコト若シ之ヲ發セサリシトキハ其事由

由

- 七 告知シタル競賣ノ條件
 - 八 各競賣物ニ對スル競落人ノ氏名及ヒ其申込價額
 - 九 競賣ヲ停止シタルトキ又ハ競落ヲ爲ササリシトキハ其事由
 - 十 競賣ノ開始及ヒ完結ノ日時
 - 十一 競賣調書ヲ作りタル場所及ヒ年月日
- 競賣調書ニハ委任者又ハ其代理人ヲシテ署名、捺印セシメ且競賣ノ公告ヲ爲シ及ヒ通知ヲ發シタルコトヲ證スル書面及ヒ委任狀ヲ添附スルコトヲ要ス
- 執達吏ハ委任者ノ請求ニ因リ競賣調書ノ謄本ヲ交スルコトヲ要ス

競賣調書

何會社又ハ(氏名)委任ニ因リ何物件ヲ競賣ニ付ス其事項如左

委任者

府縣市町村番地

氏

名

一 競賣物何々

(種類、數量、品質)

實例競賣法 動産ノ競賣

- 一 鑑定人ノ評價格 何 圖
- 一 競賣ノ場所 何市町村番地 年月日時
- 一 (アラハ)第九條ノ期間ノ理由
- 一 利害關係人ニ通知シタルコト(若シセサル時(其理由))
- 一 競賣條件(アラハ)
- 一 競落人ノ氏名 其申込價格
- 一 競賣停止及不競落ノ(アラハ)其理由
- 一 競賣開始及完結ノ理由

右ハ何處ニ於テ競賣調書ヲ作ル

年月日

委任者 氏 名
執達吏 氏 名

第十五條

執達史ハ競賣ノ完結後賣得金ノ中ヨリ競賣ノ費用ヲ控除シ其殘金及ヒ競落セサリシ物ハ遲滞ナク之ヲ受取ルヘキ者ニ交付シ又ハ其者ノ爲メニ之ヲ供託スルコトヲ要ス

第十六條

執達史ハ競賣ニ付キ正副二通ノ計算書ヲ作り其正本ハ計算ニ關スル證明書

ト共ニ之ヲ委任者ニ交付シ其副本ハ之ヲ競賣調書ニ添附スヘシ

計算書

一金何圓也	競賣得金
内 譯	
金何圓	氏名へ支拂ヒ
金何圓	鑑定料
金何圓	費用
殘金何圓也	

右計算書如件

年月日

何區裁判所

執達吏 氏 名

第十七條

競賣ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ハ競賣ノ完結ニ至ルマテ其手續ニ關スル執達史ノ處分ニ付キ其所屬區裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

異議ノ裁判ハ申立人ニ之ヲ通知スヘシ此裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

實例競賣法 動産ノ競賣

異議ノ裁判ハ之ヲ以テ善意ノ競落人ニ對抗スルコトヲ得ス

競賣異議ノ申立(他ノ申立ハ之ニ準ス)

府縣市町村番地

異議申立人 氏 名

申立ノ趣旨

執達吏氏名ハ氏名ノ委任ニ因リ申立人ノ所有ニ係ル何々物件ヲ競賣ニ付シタルニ年月日ハ其價格何圓ノ概場ナルニ其以下ニ競賣ニ付シタルハ不當ナルヲ以テ該競賣手續ヲ取消ス旨ノ御決定相成度及申立候也

一 証據書類 何々

年月日

申立人 氏 名

何區裁判所判事 氏 名 殿

決 定

府縣市町村番地

異議申立人 氏 名

右者執達吏氏名ノ競賣ハ(何々ノ)手續ニ違背シタル不當ノ競賣ニ付キ其競賣ヲ取消スト、異議ノ申立ナシ

シタルヲ以テ當裁判所、其中立ヲ(理由アリ)(又ハ理由ナシ)トシ決定スル加左

異議申立ハ之ヲ却下ス(又ハ本誌競賣ハ之ヲ取消ス)

年月日

何區裁判所判事 氏 名

第十八條 前條ノ規定ニ依リテ異議ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ競賣ノ停止ヲ命スルコトヲ得但停止ニ因リテ著シキ損害ヲ生スル虞アルトキハ此限ニ在ラズ

決 定

執達吏 氏 名

氏名ノ委任ニ因ル競賣期日ハ年月日時ナルニ其所有者氏名ヨリ競賣手續キニ異議ノ申立ナシタルヲ以テ當裁判所ハ異議ノ裁判アルマテ其競賣ヲ停止ス

年月日

何區裁判所判事 氏 名

第十九條 第三者カ競賣ノ目的物ニ關シテ訴ヲ提起シタルコトヲ證明シタルトキハ執達吏ハ其競賣ヲ停止スルコトヲ要ス
物ノ保管ニ付キ過分ノ費用ヲ要スルトキ又ハ遲滯ノ爲メ著シク物ノ價格ヲ減少スル虞アルトキハ執達吏ハ競賣ヲ續行シテ賣得金ヲ供託スルコトヲ得

實例競賣法 不動産ノ競賣

第二十條 前二條ノ規定ニ依リテ競賣ヲ停止シタル場合ニ於テハ執達吏ハ相當ノ方法ヲ以テ競賣ノ目的物ヲ保管スルコトヲ要ス此場合ニ於ケル競賣手續及ヒ保管ノ費用ハ委任者ノ負擔トス

第二十一條 競賣ノ委任ハ競落ノ告知アルマテ之ヲ取消スコトヲ得前項ノ場合ニ於ケル競賣手續ノ費用ハ委任者ノ負擔トス

委任取消

年月日何物件ノ競賣ヲ委任シタルモ何々ニテ競賣ノ必用之レナキヲ以テ其委任ヲ取消候也

年月日

委任者

氏

名

執達吏 氏名 殿

第三章 不動産ノ競賣

第二十二條 不動産ノ競賣ハ留置權者、先取特權者、質權者、抵當權者其他民法ノ規定ニ依リテ競賣ヲ爲サントスル者ノ申立ニ因リ不動産所在地ノ區裁判所之ヲ爲ス

二四、二五、
民、二九五乃至三〇二、三〇三乃至三一〇、三一五乃至三二八、三五六乃至三六一、四九七、二五八、一〇三四、
民事訴訟法第六百四十一條第一項ノ規定ハ競賣ヲ爲スヘキ裁判所ノ管轄ニ之ヲ準用ス

不動産競賣申立書(正副ニ通チ要ス一通ハ登記所へ送ルモノトス)

府縣市町村番地族業	申立人	氏	名
府縣市町村番地族業	債務者	氏	名
府縣市町村番地族業	物件所有者	氏	名

請求金額

一金何圓 元金

一金何圓 利金

合計金何圓也

物件表示

實例競賣ニ不動産ノ競賣

府縣市町村番地

一宅地(田、畑、山林) 何坪

全所々在

一建物(木造、土藏、瓦、板葺) 一棟

建坪何坪 二階何坪

原因タル事實

申立人ハ年月日債務者ニ前記ノ物件ヲ抵當トシ前記元金ヲ貸與シ利子ハ年何割辨濟期ヲ年月日ト定メタルニ債務者ハ其辨濟期ヲ過ルモ利子ハ勿論元金ノ辨濟ヲナササルヲ以テ抵當權ノ實行トシテ(又ハ何々原因ノ爲メ其原因タル事實ヲ記ス)前記ノ物件ヲ競賣ニ付シ辨濟ニ充當仕度候間該物件ニ對シ競賣手續開始決定相成度候也

附屬書類

一不動産登記簿ノ謄本 何通

一土地台帳寫(土地競賣ノ時) 何通

一土地建物ノ租稅公課ヲ証スヘキ證書(證明シ得サル時ハ取調ヲ申立テナスヘシ)

一土地建物ニ貸借アルトキハ其ヲ証スル證書(證明シ得サル時ハ取調ヲ申立ツヘシ)

一債權證書寫 何通

一物件目錄

何通(十通ヲ要ス)

一代理人ナルハ委任狀

(假住所ハ届出ヲ爲スヘシ)

年月日

右

何區裁判所判事 氏名 殿

申立人 氏

名

貸借取調へ申立(競賣申立書ニ添ユ可シ)

債務者氏名ニ對シ抵當權實行トシテ競賣手續開始決定ヲ申立タルニ其物件ニ貸借ノ設定アルヤ不明ニテ其取調困難仕候間御取調へ御命令被下度申立候也

年月日

債權者 氏

名

何區裁判所判事 氏名 殿

公課取調へ申立(競賣申立書ニ添ユ可シ)

實例競賣法 不動産ノ競賣

債務者ニ對シテ抵當權實行トシテ競賣手續開始決定ヲ申立タルニ其物件ノ公課不明ニテ取調ヘ難ク候間御取調ヘ御命令被下度申下候也

年月日

債權者 氏名

名

何區裁判所判事 氏名 殿

納書(競賣申立ニ添ニ)

(郵便切手又ハ金何圓)

(何枚費用)

右納付也

年月日

債權者 氏名

名

何區裁判所御中

第二十三條 申立人ハ競落期日マテハ最高價競買申込人ノ同意アル場合ニ限り其申立ノ取下ヲ爲スコトヲ得三五、二六、非一八

不動産競賣申立取下書

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ債務者ヨリ辨濟ヲ求ケタルヲ以テ(又ハ最高價競買申込人ノ同意ヲ得

候間)御取下許可被下度候也

年月日

申立人 氏名

名

何區裁判所判事 氏名 殿

第二十四條 競賣ノ申立ハ書面ヲ提出シテ之ヲ爲スコトヲ要ス二三、

申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ其代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一 債務者及ヒ所有者ノ氏名、住所

二 競賣ニ付スヘキ不動産ノ表示

三 競賣ノ原因タル事由

四 年月日

五 裁判所

申立書ニハ競賣ニ付スヘキ不動産ニ關スル登記簿ノ謄本及ヒ代理人ニ依リテ申立ヲ爲ストキハ其委任狀ヲ添附スルコトヲ要ス

實例競賣法 不動産ノ競賣

民事訴訟法第六百四十三條第一項第二號乃至第五號、第二項及ヒ第三項ノ規定ハ第一項ノ申立ニ之ヲ準用ス

決定

府縣市町村番地族業
 申立人債務者 氏 名
 府縣市町村番地族業
 債務者 氏 名
 府縣市町村番地族業
 所有者 氏 名

右當事者間ノ年(何)第何號不動産競賣事件ニ付其申立ハ何々(申立人ハ競賣原因タル事實ヲ説明セス)(表示ノ物件消滅)タルヲ以テ決定スル如左
 本件競賣申立ハ之ヲ却下ス

年月日

何區裁判所判事

氏

名

決定

府縣市町村番地族業
 申立人 氏 名
 府縣市町村番地族業
 債務者 氏 名
 府縣市町村番地族業
 所有者 氏 名

右當事者間ノ年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ蓋ニ本件目的ノ不動産ニ對シ債務者氏名ノ競賣申立アリ而シテ本法ニハ同一不動産ニ對スル二重競賣ノ申立ニ付キ別ニ規定スル處アラサルヲ以テ二重ノ競賣申立ハ之ヲ許ササルモノトス仍テ決定スル如左
 本件競賣申立ハ之ヲ却下ス

年月日

何區裁判所判事

氏

名

第二十五號 競賣手續ノ開始ハ決定ヲ以テ之ヲ爲スニ、三、

開始決定ニハ申立人ノ氏名、住所及ヒ前條第二項第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項ヲ記載シ決定ヲ爲シタル判事之ニ署名捺印スヘシ

實例競賣法 不動産ノ競賣

民事訴訟法第二百三十九條ノ規定ハ開始決定ニ之ヲ準用ス非ニ〇一三五、

競賣手續開始決定

府縣市町村番地族業
 申立人 氏 名
 府縣市町村番地族業
 債務者 氏 名
 府縣市町村番地族業
 物件所有者 氏 名

競賣不動産ノ表示

別紙目錄

原因タル事實

申立人ハ前掲表示ノ不動産ニ付キ債務者(物件所有者)氏名ニ對シ何々(抵當權質)權ノ實行ノ爲メ年月日競賣ノ申立ヲナセリ當裁判ハ其申立ヲ至當ト認メ該不動産ニ對シ競賣手續ヲ開始ス

年月日

何區裁判所判事

氏

名

(注意 決定ノ正本ヲ作ル時ハ決定ノ全書ヲ記シ其ノ末尾ニ左ノ如ク記ス可シ)

此正本ハ原本ニ依リ之ヲ作ル

年月日

何區裁判所書記

氏

名

命 令 (民訴、六四) (開始決定ト
 三ノ三) (同時ニ命ス)

何區裁判所

執達吏 氏 名

右債務者氏名ノ所有ニ係ル別紙目錄ノ不動産ニ付キ貸貸借設定並ニ其期限賃料等取調ヘノ上來ル月日マテニ報告スヘシ

年月日

何區裁判所判事

氏

名

命 令 (此案ハ決
 定ニ添ニ)

何區裁判所

執達吏 氏 名

右債務者氏名ノ所有ニ係ル別紙目錄ノ不動産ニ付キ一ヶ月ノ公課金取調ヘノ上來ル月日マテニ其報告ヲ爲

例實競賣法 不動産ノ競賣

スヘシ

年月日

何區裁判所判事

氏

名

第二十六條 裁判所ハ開始決定ヲ爲スト同時ニ職權ヲ以テ競賣ノ申立アリタルコトヲ競賣ニ付スヘキ不動産ニ關スル登記簿ニ登記スヘキ旨ヲ其管轄登記所ニ囑託スヘシ

登記囑託書(注意此囑託ハ開始決定ト同時ニ發ス此案ハ決定ニ添ユ)

債務者氏名ノ所有ニ係ル別紙不動産競賣開始申立書ニ記載シタル不動産ニ付キ年月日債權者氏名ヨリ競賣ノ申立アリタルニ因リ其申立記入ノ登記相成度及囑託候也

年月日

何區裁判所判事

氏

名

何區裁判所(又ハ出張所)

一債權額及物權額

何圓

一登録税

何圓

民事訴訟法第六百五十一條第二項、第六百五十二條及ヒ第六百五十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

競賣手續取消決定(民訴六五三)

府縣市町村番地族業

申立人

名

府縣市町村番地族業

債務者

名

府縣市町村番地族業

物件所有者

名

右當事者間ノ不動産競賣事件ニ付キ不動産競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタル處(區裁判所又ハ出張所)ノ登記簿本ニ因レハ目的ノ不動産ハ所有名義ヲ異ニシ(又ハ世襲財産)タルコトヲ發見シ競賣手續ノ進行ヲ爲ス能ハサルニ付キ左ノ如ク決定ス

本件競賣手續ハ之ヲ取消ス

年月日

何區裁判所判事

氏

名

命(民訴第六百五十三條)

府縣市町村番地族業

債權者

名

實例競賣法 不動産ノ競賣

府縣市町村番地族業
債務者 氏 名

右當事者間ノ不動産競賣事件ニ付キ不動産競賣手續開始ノ決定ヲナシタル處(區裁判所又ハ出張所)ノ登記簿謄本ニ因レハ該不動産ハ(已ニ他ヨリ差押ヘラレ又ハ所有者名義ノ改メナキ)コトヲ發見シタルヲ以テ債權者ハ月日マテニ其障礙ノ消滅シタルコトヲ證明スヘシ右期間内ニ證明ヲ爲サル時ハ本案競賣手續キハ之ヲ取消ス可シ

年月日

何區裁判所判事 氏 名

障礙消滅證明書

府縣市町村番地族業
債權者 氏 名
府縣市町村番地族業
債務者 氏 名

右當事者間ノ年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ何々ノ障礙消滅ノ證明ヲナスヘキ旨御命令相成候ニ付キ別紙ノ如ク其障礙消滅ニ付キ證明候也

年月日

債權者 氏 名

何區裁判所判事 氏 名 殿

(別紙ハ其障礙消滅ノコトヲ第三者ニ於テ證明シタルモノ)

競賣手續取消決定(民訴六)
(五三)

府縣市町村番地族業
債權者 氏 名
府縣市町村番地族業
債務者 氏 名

右當事者間ノ不動産競賣事件ニ付キ債權者ニ對シ年月日マテニ競賣手續ノ開始ヲ妨ク可キ障礙消滅ノ證明ヲ命シタルニ其期間内ニ證明ヲオサザルヲ以テ決定スルコト如左
本件ノ競賣手續キハ之ヲ取消ス

年月日

何區裁判所判事 氏 名

第二十七條 裁判所カ開始決定ヲ爲シタルトキハ競賣期日及ヒ競落期日ヲ定メテ之ヲ

公告スルコトヲ要ス(二二、二九、三五、三〇、
民訴、六五九、六六二乃至六六九、六五八、一號—三號五號—七號、九號、一〇號、六六一、

實例競賣法 不動産ノ競賣

競賣ノ期日ハ競賣手續ノ利害關係人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

左ニ記載シタル者ヲ利害關係人トス

- 一 申立人
- 二 債務者及ヒ所有者
- 三 登記簿ニ登記シタル不動産上ノ權利者
- 四 不動産上ノ權利者ヲ證明シタル者

年(何)第何號不動産競賣事件ノ不動産競賣期日公告(民訴六)五八(六)

府縣市町村番地何坪ノ所在

一 木造、土藏、瓦、板葺(平家) 何棟

建坪何坪

實測(鑑定人ノ取調ト何々何坪)

差違ノアルモノ(同)ナレハ記スルニ及ハス何々何坪

一ヶ年ノ公課 何圓

此最低競賣價格金何圓(一筆ノ價格又ハ合併シタル總額ヲ記入ス)

府縣市町村番地

一 山林、田、畑、宅地 何町反又ハ何坪

實測(差違アラハ其點ノミヲ記ス)(鑑定書)

一ヶ年租金何圓

一ヶ年公課金何圓

此最低競賣價格金何圓

一 右建物及土地ニハ年月日ヨリ年月日マテ一ヶ月金何圓ノ賃料ニテ賃貸シ得ヘキ賃貸借ノ登記アリ

一 右不動産ハ債務者氏名 有ノ處何々ノ實行ニ因リ(抵當權)債權者氏名ノ申立ニ因リ競賣法ニ從ヒ競賣ニ付ス

一 競賣期日 年月日時トス

一 其場所 何區裁判所構内トス

一 住所執達吏氏名ヲシテ競賣ヲ取扱ハシム

一 競落期日 年月日時トス

一 其場所 何區裁判所トス

一 登記簿ニ記入ヲ要セサル不動産上權利ヲ有スル者ハ其債權ヲ申出スヘシ

一 利害關係人ハ競賣期日競賣ノ場所ニ出頭ス可シ

實例競賣法 不動産ノ競賣

年月日

右ハ即日何區裁判所ニ揭示場ニ揭示ス

何區裁判所

裁判所書記

氏

名

(注意) 公告ハ民訴第六六一ニ因リ裁判所又ハ物件所在地ノ市、町、村
役場ニ揭示ス役場ハ郵便ニテ囑託シ又ハ執達吏ヲシテ取扱ハシム

第二十八條 裁判所ハ鑑定人ヲシテ競賣ニ付スヘキ不動産ノ評價ヲ爲サシノ其評價額

ヲ以テ最低競賣價額トスヘシ

命 (注意) 鑑定人不明ノ時ハ市町村役場ニ照
會シテ鑑定人ヲ定メテ此命令ヲ發ス可シ

鑑定人

氏

名

右ハ債務者氏名ノ所有ニ係ル別紙目錄ニ記載シタル不動産ノ評價ヲ命ス

年月日

何區裁判所判事

氏

名

第二十九條 競賣期日ノ公告ニハ第二十二條ニ掲ケタル者ノ申立ニ因リテ競買ヲ爲ス

旨ノ外民事訴訟法第六百五十八條第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第九號及

ヒ第十號ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要スニシテ

民事訴訟法第六百六十一條ノ規定ハ前項ノ公告ニ之ヲ準用ス

第三十條 競賣期日、其開始、競賣調書及ヒ競賣終局ノ告知ニ關スル民事訴訟法第六

百五十九條第六百六十二條乃至第六百六十九條ノ規定ハ本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

賣却條件變更申立書(民訴六)

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ利害關係人ニ於テ合意仕候間競賣方法ヲ左ノ如ク變更相成度申立候也
一何々何々ト變更ス(保証免除ノ類)

年月日

利害關係人

何々氏

名

何々氏

名

何區裁判所判事 氏 名 殿

決定

府縣市町村番地族號
債權者 氏

名

實例競賣法 不動産ノ競賣

二十九

府縣市町村番地族業
債務者 氏 名

右當事者間ノ不動産競賣事件ニ付キ利害關係人合意ノ上何々ノ賣却條件ヲ何々ト變更シタシトノ申立ヲナシタルヲ以テ當裁判所ハ決定スル如左

本件賣却條件ノ變更ハ之ヲ許ス(又ハ許サス)

年月日

何區裁判所判事

氏

名

假住所屆(民訴六)
(六九)

府縣市町村番地氏名方

最高競買人

氏

名

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ右ノ處ヲ假住所ニ選定仕候又自分不在中ハ假住所ノ戶主家族雇人ニ送達書類ノ受取方ヲ委任候間合セテ及御届候也

年月日

最高競買人

氏

名

何區裁判所判事殿

不動産競賣調書(民訴六)
(六七)

府縣市町村番地

債權者

氏

名

府縣市町村番地

債務者

氏

名

債權額

一金何圓

不動産ノ表示

一土地何々

何坪

一建物何々

何坪

一執行記録ハ各人ノ閱覽ニ供シ賣却條件ヲ告知タシ

一年月日時競賣價格ノ申出ヲ催告シタリ

一競賣申立人氏名ハ競賣價格ノ申出ヲナシ又其價格ノ申出者ナシ

一競買人氏名ノ申立ニ因リ保証ヲ立テタリ又保証ヲ立テサル爲メ其競買ヲ許サス

一氏名ヲ最高競買人ト認メ其最高價格ヲ呼上ケタリ

一年月日時競賣ノ終局ヲ告知シタリ

實例競賣法 不動産ノ競賣

利害關係人氏名ハ出頭シ其ノ他ハ出頭セス
右調書ハ年月日時何區裁判所ニ於テ開ク競賣期日ニ於テ之ヲ作リ左ノ利害關係人ノ最高競買人ニ讓聞セ
各記名調印シタリ

最高競買人 氏 名
債權者 氏 名
債務者 氏 名

氏名ハ調書作成前ニ退席シタリ
年月日

何區裁判所
執達吏 氏 名

(注意 競買ノ保証ノ返還ノ
受領書ハ之ヲ調書ニ添付ス)

競買 申出 人氏 名	番 外	競買申出 人氏名	住 所	競買 價 格

(注意 本調書ハ競買保証金ハ競賣期日
ヨリ三日内ニ裁判書記ニ引渡スヘシ) (民訴六百六十八條)

第三十一條 競賣期日ニ相當ノ競買申込ナキトキハ裁判所ハ更ニ期日ヲ定メテ競賣ヲ
爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第六百七十條ノ規定ヲ準用ス

競賣期日ニ競買ノ申出ナキ時ハ最低競賣價格ヲ一割若クハ二割減シ新競賣期日ヲ定メ第二十七條ノ公告文
例ヲ準シテ公告チナス(民訴六百七十條)

第三十二條 競落期日ハ民事訴訟法第六百六十條ノ規定ニ從ヒ裁判所ニ於テ之ヲ開ク
競落ノ手續、競落ヲ許ササル場合ノ新競賣期日、競賣ノ履行及ヒ競落人ノ義務不履
行ノ場合ニ於ケル再競賣ニ關スル民事訴訟法第六百七十一條乃至第六百七十四條、
第六百七十六條乃至第六百八十三條、第六百八十七條及ヒ第六百八十八條ノ規定ハ
本章ノ競賣ニ之ヲ準用ス

競落期日調書(民訴、六六〇、六七七、二項、
一、二、九乃至一、三三三、一、三四)

年(何)第何號ノ不動産競賣事件ニ付キ競落期日ヲ年月日時分當裁判所法定ニ於テ公開ス

實例競賣法不動産ノ競賣

判事 氏名
書記 氏名
立會人 氏名

判事ハ(利害關係人)氏名ニ競落許可ニ付キ異議ノ有無ヲ陳述スヘキ旨ヲ告ケタリ
利害關係人ハ云々

判事ハ茲ニ於テ別紙ノ通り競落許可ス(又ハ不許可)ノ決定ヲ言渡シタリ
右讀聞ケ又ハ閱覽セシメタルニ關係人ハ承諾シタリ

年月日

何區裁判所判事

氏名

書記

氏名

名

競落許可決定(民訴、六七七ノ一、六七九)

府縣市町村番地

競落人 氏名

名

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ債務者氏名ノ別紙目錄ノ不動産ニ對シ右競落人氏名ハ最高價金何圓ノ申出ヲナシタルニ因リ該不動産ノ競落ヲ許可ス

年月日

何區裁判所判事

氏名

名

競落許可ニ付テノ異議ノ申立(民訴、六、七二)

府縣市町村番地

利害關係人 氏名

名

債權者氏名ト債務者氏名間ノ年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ年月日何區裁判所ニ於テ爲シタル不動産競賣ハ其競買人カ不動産ヲ取得スル能力ナキニ其競買ヲ爲シタル民事訴訟法第六百七十二條ニ違背スルモノナルニ付キ異議ノ申立ヲナシタル次第也

年月日

異議申立人 氏名

名

何區裁判所判事 氏名 殿

(注意) 異議ヲ理由ナシトスル時ハ次ノ不許可ノ決定ノ文例ニ準シ申立却下ノ決定ヲ爲スヘシ

競落不許可決定(民訴、六七四、六七七、理由ナシ却下スル時モ此文例ニ準ス)

府縣市町村番地族業

債權者 氏名

名

府縣市町村番地族業

債務者 氏名

名

實例競賣法不動産ノ競賣

右當事者間ノ不動産競賣事件ニ付キ年月日競賣期日ノ終リ前ニ利害關係人氏名ヨリ何々ノ異議申立(民訴七十二條ノ各項ノ一ニ)アリ、何々ヲ以テ立証シタリ、當裁判所ハ其證據ヲ査閲シ異議申立ヲ理由アリト當ルコトヲ理由トス) 認メ決定スル如左

本件不動産ノ競落ハ之ヲ許サス

年月日

何區裁判所判事

氏

名

抗告申立書(民訴六八〇) 乃至六八三)

府縣市町村番地族業

利害關係人

抗告人

氏

名

競落決定ノ表示

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ何區裁判所ハ年月日(氏名ヲ競買人ト定メ之ニ競落ヲ許ス)又ハ(該不動産ニ對シ競落ヲ許可セス)ト決定シタリ

抗告ノ趣旨

(抗告人ハ此競賣ニ利害ノ關係ヲ有シタルモノ)又ハ(競落人)若クハ(競賣人)ニシテ(何々ノ不許ノ原因)

ヲトシテ競落ヲ許サス)又ハ(何々ノ不許ノ原因アルニ競落ヲ許シタルハ)又ハ(氏名ヲ競落人トシテ決定ニ掲ケタルニ調書ニハ最高競買人ニアラス)云々トシ(其理由ヲ記ス)之ニ競落ヲ(許可)(不許)シタルハ失當ノ決定ナルヲ以テ及抗告タル次第ナリ

一定ノ申立

右ノ理由ナルヲ以テ原決定ヲ取消シ何々ト裁判アラント請求仕候也

立証

何々ヲ以テ立証ス

附屬書類

一何々

年月日

抗告人

氏

名

何地方裁判所長判事 氏名 殿

決定(民訴六八三)

府縣市町村番地族業

抗告人

氏

名

實例競賣法不動産ノ競賣

三十七

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ該不動産ノ競落(許)(否)ヲ不當トシ抗告ヲナンタリ仍テ當裁判所ハ決定スル如左

(原決定ヲ變更シ何々ト決定)又ハ(抗告ハ理由ナキヲ以テ却下)ス

理由

抗告人ハ何々ニテ云々ト云フモ(主張ノ要點)(理由アル)(理由ナキ)ヲ以テ主文ノ如ク決定ス

年月日

何地方裁判所民事部

裁判長判事 氏

判事 氏

判事 氏

名

名

名

競賣不動産管理申立(民訴六八)
(六二)

債權者 氏 名
債權者 氏 名
債務者 氏 名

右當事者間ノ年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ別紙目錄ノ不動産ヲ競落人へ引渡シアルマテ債務者へ保管セシムル時ハ(何々タルヲ以テ)住所氏名へ管送御命令相成度申立候也

年月日

競賣人又ハ債權者

申立人 氏

名

不動産管理命令

管理人 氏

名

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ(競落人)又ハ(債權者)ノ申立ニ因リ債務者氏ノ所有ノ別紙目錄ノ不動産ノ管理ヲ命ス

年月日

何區裁判所判事

氏

名

競賣不動産引渡申立書(民訴六八)
(八七)

債權者 氏 名
債權者 氏 名
債務者 氏 名

右當事者間ノ年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ別紙ノ不動産ニ對シ住所氏名ヲ管理人ニ御命令相成候處債務者氏名ニ於テ該不動産ノ引渡ヲ拒ミ管理人ニ於テ管理相成候間執達更テシテ債務者ノ占有ヲ解キ管理入氏名へ引渡スヘキ旨御命令相成度候也

實例競賣法不動産ノ競賣

年月日

競落人又ハ債務者

申立人

氏

名

何區裁判所判事 氏名殿

不動産引渡命令

執達吏

氏

名

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ(債權者(競落人)ノ申立ニ因リ別紙目錄ノ不動産ニ對シ債務者ノ占有ヲ解キ管理人住所氏名へ引渡スヘシ

年月日

何區裁判所判事

氏

名

競買取消申立(民訴、六七八)

申立人競買人

氏

名

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ年月日申立人ハ最高價競買ノ申出ヲ爲シタル處年月日何々天災事變ニテ別紙ノ物件著シク毀損致候ニ付キ競買取消シ相成度候

年月日

申立人

氏

名

何區裁判所判事 氏名殿

決定

申立人

氏

名

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ最高價申出人氏名ハ其物件カ何々ノ天災事變ニテ著シク毀損シタルヲ以テ先キニ申出タル競買取消ノ申立ヲナセリ當裁判所ハ其申立ヲ理由アリト認メ決定スル如左
本件氏名ノ競買申出ハ之ヲ取消ス

年月日

何區裁判所判事

氏

名

(注意 其物件ノ毀損ノ程度ヲ見、取消ヲ許サ
ル時ハ却下スヘク其文例ハ右文例ニ準ス)

再競賣命令(民訴、六八)

申立人

氏

名

債務者

氏

名

物件所有者

氏

名

年(何)第何號不動産競賣事件ニ付キ競落人氏名ハ代金支拂期日ニ代金ヲ完納セサルニ付キ別紙目錄ノ不動産
實例競賣法 不動産ノ競賣

産ハ之ヲ再競賣ニ付ス

年月日

何區裁判所判事

氏

名

(注意 再競賣ニハ更ラニ期日公告ヲ爲ス其ノ例ハ第二十七條ニ準ス期日三日前ニ代金及
ヒ其他ノ費用ヲ納入スル時ハ其手續キテ取消ス決定ヲナス其ノ例ハ不許ノ決定ニ準ス)

第三十三條 競落人ハ競落ヲ許ス決定カ確定シタル後直チニ代價ヲ裁判所ニ支拂フコ

トヲ要ス此場合ニ於テハ裁判所ハ其裁判ノ謄本ヲ添ヘ競落人カ取得シタル權利ノ移

轉ノ登記ヲ管轄登記所ニ囑託スヘシ

裁判所ハ前項ノ代價ノ中ヨリ競賣ノ費用ヲ控除シ其殘金ハ遲滞ナク之ヲ受取ルヘキ

者ニ交付スルコトヲ要ス

登記囑託書

一登記ノ目的 所有權ノ移轉登記

一登記ノ事由 年月日不動産競落許可決定ニヨル

一不動産ノ表示 別紙目錄

一府縣市町村番地 競落人 氏名

一府縣市町村番地 所有者 氏名

一登録稅標準價格 何圓

一登録稅 何圓

右登記相成度決定謄本相添ヘ及囑託候也

年月日

何區裁判所判事

氏

名

何區裁判所(出張所)御中

第三十四條 裁判所ハ競賣期日ノ公告ヲ爲ス前申立ニ因リ競賣ニ代ヘテ入札拂ヲ爲ス

ヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依ル外本章ノ規

定ヲ準用ス

不動産入札拂申立書(民訴、七〇二)
乃至七〇五)

府縣市町村番地

申立人 氏

名

府縣市町村番地

債務者 氏

名

府縣市町村番地

實例競賣法 不動産ノ競賣

物件所有者 氏 名

右當事者間ノ年(何)第何號不動産競賣事件ハ入札拂ノ方法ニテ別紙ノ不動産ヲ賣却スルコト利益ナラント
存候間競賣ニ代ヘ入札拂ヲ御命令相成度及申立候也

年月日

申立人 氏 名

何區裁判所判事 氏 名 殿

不動産入札拂命令

申立人 氏 名

債務者 氏 名

物件所有者 氏 名

年(何)第何號不動産競賣事件ハ申立人ノ要求ニ因リ別紙ノ不動産ニ對シ入札拂ヲ命ス

年月日

何區裁判所判事 氏 名

第三十五條 競落ヲ爲サスシテ競賣手續ヲ完結シタルトキハ裁判所ハ第二十六條ノ規

定ニ依リテ爲シタル登記ノ抹消ヲ囑託スヘシ^{二三}、^{二三}民訴、六五〇、ノ三、六五六、六八五、六七二、六七

四、六七六、六七七。

登記抹消囑託書

一 登記ノ目的 競賣申立記入登記抹消

一 登記ノ事由 年月日競賣申立取下

債權者 府縣市町村番地 氏名

債務者 府縣市町村番地 氏名

物件所有者 府縣市町村番地 氏名

一 不動産ノ表示 別紙目錄

一 登録税 何圓

右登記相成度取下書相添ヘ及囑託候也

年月日

何區裁判所判事 氏 名

第四章 船舶ノ競賣

第三十六條 登記シタル船舶ノ競賣ハ申立ニ因リ其當時ノ碇泊港又ハ船舶ノ現在地ヲ

管轄スル區裁判所之ヲ爲ス^{三九}、^{三九}商五三九、五四一、五五六、六八〇—六八七、船登七、以下船法六、七、

第三十七條 競賣ノ申立書ニハ船舶所有者並ニ船長ノ氏名、住所、船舶ノ表示及ヒ競

實例競賣法 船舶、競賣

賣ノ原因ヲ記載シ且船舶登記簿ノ謄本及ヒ官ノ認可ヲ要スル場合ニ於テハ其認可ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

船舶競賣ノ申立(此他不動産競賣申立ニ準シ各申立チナス其文例ハ二二二因ル)

府縣市町村番地族業

債權者

申立人

府縣市町村番地族業

債務者

府縣市町村番地族業

船舶所有者

府縣市町村番地族業

船長

請求額

一金何圓

何々

船舶ノ表示

船舶礙害地何々地名

一 帆、漁船、船名、船材、噸、石數、付屬物件、

競賣原因

申立人ハ年月日船舶ノ所有者ナル債務者氏名ニ前記ノ船舶ヲ抵當トシテ金何圓ヲ貸與シ利子ハ年何分、返済期ヲ何年トシタルニ債務者ハ返済セサルヲ以テ抵當權ノ實行トシテ右船舶ヲ競賣ニ付シ其代金ヲ以テ辨濟ヲ受ケント欲シ茲ニ競賣ノ開始決定ヲ申立タル次第ナリ

但シ貸貸借ハ登記簿謄本ノ如シ(又ハ貸貸借ハ借ハナシ)

請求ノ趣旨

右ノ次第ナルヲ以テ右船舶ニ對シ競賣開始ノ御決定相成度候也

附屬書類

一 船舶登記ノ謄本

一 主務管廳ノ認可書

一 債務者ノ所有者ナル時ハ所有者トシテ船舶ヲ占有スル疏明證書、

又ハ船長ナルハ船長トシテ指揮スルコトヲ疏明スル證書、

年 月 日 何區裁判所判事 氏 名 殿

實例競賣法 船舶ノ競賣

船舶競賣開始決定

府縣市町村番地族業	氏	名
申立人	氏	名
府縣市町村番地族業	氏	名
債務者	氏	名
府縣市町村番地族業	氏	名
船舶所有者	全	人 (別人ナレハ其氏名)
府縣市町村番地	全	人
船長	全	人

競賣船舶ノ表示

一別紙目録

事實理由

申立人ハ前掲表示ノ船舶ニ抵當權ヲ設定シ年月日金何圓ヲ貸與シ年月日辨濟スル約定ナルニ債務者ハ辨濟セサルヲ以テ抵當權ノ實行トシテ右船舶ノ競賣ヲ申立タリ、當裁判所ハ其申立ヲ至當ト認メ競賣ノ手續キテ開始ス

本件目的ノ船舶ハ此競賣手續執行中碇泊港ニ碇泊セシムヘシ

年月日

何區裁判所判事

氏

名

質貸借取調命令 (申請ノアル時) 第二十五條ノ文例ニ準ス

公課取調命令 (申請ノアル時) 第二十五條ノ文例ニ準ス

登記囑託書 (職權) 第二十六條ノ文例ニ準ス

鑑定命令 (職權) 第二十八條ノ文例ニ準ス

(注意) 右四ツノ命令ハ開始決定ト同時ニ發スルモノトス而シテ命令ニ因リ答申アリタル後第三十八條ノ公告ヲナスモノトス

第三十八條 競賣期日ノ公告ニハ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨ノ外船舶ノ表示及ヒ其碇泊港又ハ現在ノ場所ヲ記載スルコトヲ要ス二七、

競賣期日ノ公告

第二拾七條ノ公告ノ文例ニ準ス

船舶ノ表示碇泊港現在ノ場所ヲ記ス

(注意) 其他第三拾條乃至第三十五條ノ文例ハ船舶ノ競賣ニ付テノ文例ニ準用ス

第三十九條 前章ノ規定及ヒ民事訴訟法第七百十九條、第七百二十條第二項、第七百二十三條、第七百二十五條ノ規定ハ船舶ノ競賣ニ之ヲ準用ス

質例競賣法 船舶ノ競賣

第五章 增價競賣

第四十條 民法第三百八十四條ノ規定ニ依リテ抵當不動産ノ增價競賣ヲ請求スル債權者ハ第三取得者ニ競賣ノ請求ヲ送達シタル日ヨリ三日内ニ抵當不動産所在地ノ區裁判所ニ競賣ノ申立ヲ爲シ且擔保ノ認許ヲ求ムルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依ラサル競賣ノ請求ハ無効トス

增加競賣申立書

府縣市町村番地族業	氏	名
申立人	氏	名
府縣市町村番地族業	氏	名
債務者	氏	名
府縣市町村番地族業	氏	名
讓渡人	氏	名
府縣市町村番地族業	氏	名
第三取得者	氏	名

請求金額

一金何圓

元金

競賣物件ノ表示

一土地、何町、何反、何畝、何歩、何棟
 一建物、何町、何反、何畝、何歩、何棟
 一建坪

原因タル事實

申立人ハ債務者ニ前記ノ金圓ヲ貸與シ讓渡人ヨリ抵當權ノ設定ヲ受ケタリ仍テ年月日民法第三百八拾一條ニ從ヒ第三取得者ニ對シ抵當權ノ實行ヲ爲ス旨ノ通知ヲナシタルニ第三取得者ヨリハ却テ年月日民法第三百八拾三條ニ從ヒ金何圓ヲ提供シ抵當權ノ滌除ヲナス旨ノ書面ヲ送達シタリ然レトモ申立人ハ第三取得者ノ提シタル金額ハ不當ト認ムルニ付キ申立人カ買受ケル增加金額ヲ何圓ト定メ第三取得者ニ對シ增加競賣ノ請求ヲナシ且ツ債務者及讓渡人ニ其旨ヲ通知シタリ仍テ申立人ハ增加競賣ノ担保トシテ金何圓ヲ供託可仕候間右御認可ノ上増加競賣手續開始決定相成度及申立候也

申立ノ趣旨

右ノ次第ニ付キ申立人ノ担保御認可ノ上増加競賣ノ手續キテ開始スト御決定相成度候也

附屬書類

一民法第三百八拾三條ノ送達ヲ受ケタル日ヲ証スル書面

實例競賣法 船舶ノ競賣 增價競賣

一 土地臺帳及公課地租ノ証スル書面

一 貸貸借ヲ証スル 面

一 物件目録、抵當權設定證書謄本

年 月 日

右

申立人

氏

名

何區裁判所判事 氏 名 殿

(注意) 地租、公課及貸貸借取調へ、上申及
命令ノ文例ハ第二拾七條ノ同文例ニ準ス)

第四十一條 競賣ノ申立書ニハ左ノ事項ヲ記載シ請求債權者之ニ署名、捺印スヘシ

民、三八三、三八四、
三六一、三四一、

- 一 債務者ノ氏名、住所
- 二 抵當不動産ノ表示
- 三 第三取得者及ヒ讓渡人ノ氏名、住所
- 四 擔保ノ表示

五 第三取得者カ提供シタル金額

六 請求者カ定メタル増價金額

七 年月日

八 裁判所

申立書ニハ民法第三百八十三條ノ送達ヲ受ケタル日ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ
要ス

民事訴訟法第六百四十三條第一項第三號乃至第五號、第二項及ヒ第三項ノ規定ハ本
條ノ申立ニ之ヲ準用ス

第四十二條 裁判所ハ擔保ノ許否ニ付キ期日ヲ定メ決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ

期日ニハ請求債權者及ヒ第三取得者ヲ呼出タスヘシ

擔保ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

決 定

實例競賣法 船舶ノ競賣 増價競賣

府縣市町村番地族業

申立人 氏

名

右申立人ハ別紙目錄不動産ノ増加競賣申立ニ付キ(金何圓又ハ何々ヲ以テ)擔保ヲ認可セラレシコトノ申立

チナシタルニ因リ當裁判所ハ決定スル如左

本件擔保ハ之ヲ認可ス(又ハ何ノ理由ニテ認可セス)

年月日

何區裁判所判事

氏

名

第四十三條 競賣ノ請求ハ擔保ヲ認許セサル裁判ニ因リテ當然其効力ヲ失フ

民法第三百八十四條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ニ對シテ競賣ノ請求書ヲ送達シタル他ノ債權者ハ前項ノ裁判アリタル日ヨリ三日内ニ第四十條ノ申立ヲ爲スコトヲ得

本條二項ニヨリ申立チナス債權者ノ申立ノ文例ハ第四十條ノ文例ニ準ス

第四十四條 裁判所カ擔保ヲ認許シタルトキハ競賣手續ノ開始ノ決定ヲ爲スヘシ

決定ニハ認許シタル擔保ヲ表示シ且第四十一條第一項第一號乃至第三號、第六號及

ヒ第七號ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

第二十五條第二項、第三項及ヒ第二十六條第一項ノ規定ハ本條ノ決定ニ之ヲ準用ス

増加競賣手續開始決定

府縣市町村番地族業

申立人 氏

名

府縣市町村番地族業

債務者 氏

名

府縣市町村番地族業

讓渡人 氏

名

府縣市町村番地族業

第三取得者 氏

名

別紙ノ不動産ニ設定シタル抵當權ヲ第三取得者ハ金何圓ヲ提供シ其抵當權ヲ滌除セムトシタルニ申立人ハ其提供ノ金額ヲ不足ナリトシテ金何圓ニ増加競賣ス可ク申立タルヲ以テ該不動産ニ對シ増加競賣ノ手續キヲ開始ス

年月日

何區裁判所判事

氏

名

實例競賣法 船舶ノ競賣 増價競賣

(増加競賣申立登記ノ文例ハ第二拾六條ノ登記ノ文例ヲ其他地
租、公課、貸貸借ニ關スル命令ノ文例ハ二五ノ文例ヲ準用ス)

第四十五條 第二十七條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ増價競賣ニ之ヲ準用ス

左ニ記載シタル者ヲ利害關係人トス

一 競賣請求者

二 債務者

三 第三取得者及ヒ讓渡人

四 登記簿ニ登記シタル不動産上ノ權利者

五 不動産上ノ權利者トシテ其權利ヲ證明シタル者

第四十六條 競賣ノ公告ニハ増價競賣ノ申立ニ因リテ競賣ヲ爲ス旨及ヒ請求者ノ定メ

タル増價金額ノ外民事訴訟法第六百五十八條第一號乃至第三號、第五號、第七號、

第九號及ヒ第十號ニ掲ケタル事項ヲ記載スヘシ

第三十三條及ヒ民事訴訟法第六百五十九條乃至第六百六十九條、第六百七十一條乃

至第六百七十四條、第六百七十六條乃至第六百八十三條、第六百八十七條ノ規定ハ

本章ノ競賣及ヒ競落ノ手續ニ之ヲ準用ス

公告ハ第二拾七條ノ文例ニ準ス

但シ最低價格ヲ公告スル要ナシ

第三拾二條ノ各文例ハ増加競賣ノ場合ニ準用ス

但シ再競賣ノ文例ハ準用セズ

第四十七條 競落期日ニ請求債權者カ定メタル増價金額ニ達スル競買ノ申込ナキトキ

ハ請求債權者ヲ以テ競落人トス

民事訴訟法第六百七十八條ノ規定ニ依リ最高價競買人カ其競買ヲ取消シタルトキハ

裁判所ハ更ニ競賣期日及ヒ競落期日ヲ定メテ之ヲ公告スルコトヲ要ス

第三拾二條(民訴、六)文例ヲ準用ス

公告ハ第二拾七條ノ公告文例ニ因ルモノトス

第四十八條 増價競賣ノ擔保ハ競落代價ノ完済ニ因リテ其効力ヲ失フ

實例競賣法 船舶ノ競賣 増價競賣

第四十九條 裁判所ハ競賣請求者ノ申立ニ因リ競賣ニ代ヘテ入札拂ヲ爲スヘシ此場合ニ於テハ民事訴訟法第七百三條乃至第七百五條ノ規定ニ依ル外本章ノ規定ヲ準用ス
入札ノ申立及命令ハ第三十四條ノ文例ヲ準用ス

附則

第五十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條 明治二十三年法律第九十二號增價競賣法ハ本法發布ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

明治三十二年六月勅令第二百七拾號船舶登記規則第七條以下

明治卅二年法律第四十六號船舶法第六條第七號

實例競賣法終

競賣法附錄

●外國人ノ抵當權ニ關スル法律

土地ノ抵當權者ナル外國人カ增加競賣ヲ請求スルニハ若シ競賣ニ於テ第三取得者カ提供シタル金額ヨリ十分ノ一以上高價ニ抵當不動産ヲ賣却スルコト能ハサルトキハ提供金額二十分一ヲ加ヘタルモノト競落價額トノ差額ヲ負擔スヘキ旨ヲ附言スルコトヲ要ス

登録税法

(明治廿九年三月廿七日
法律第二十七號)

第一條 登録税ハ本法ノ定ムル所ニ依リ賦課徴收ス

第二條 不動産ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得 不動産價格 千分ノ五

二 第一號以外ノ家督相續又ハ遺産相續ニ因ル所有權ノ取得

不動産價格 千分ノ五

三 遺言、贈與其他無償名義ニ因ル所有權ノ取得

不動産價格 千分ノ四十

但シ神社、寺院、祠宇、佛堂及民法第三十四條ニ依リ設立シタル社閤又ハ財團法人カ寄附行爲ニ因リ所有權ヲ取得シタルトキハ

不動産價格 千分ノ十

四 第一號乃至第三號以外ノ原因ニ因ル所有權ノ取得

不動産價格 千分ノ二十五

五 從來保有セル所有權ノ保存

不動産價格 千分ノ二

六 共有物ノ分割

不動産價格 千分ノ五
分割ニ依リテ受ケル不動産ノ價格

七 永代地上權ノ取得

不動産價格 千分ノ二十五

八 地上權永代小作權取得

不動産價格 千分ノ二

存續期間十年未滿

不動産價格 千分ノ三

存續期間二十年未滿

不動産價格 千分ノ四

存續期間三十年未滿

不動産價格 千分ノ五

存續期間三十年以上

不動産價格 千分ノ五

存續期間ノ定メナキモノ

不動産價格 千分ノ五

但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ

其ノ殘期ヲ以テ存續期間ト看做シ登録稅ヲ計算ス

九 賃借權ノ取得

存續期間十年未滿

不動産價格 千分ノ一

存續期間十年以上

不動産價格 千分ノ二

存續期間ノ定メナキモノ

不動産價格 千分ノ一

十 地役權ノ取得

要役地價格 千分ノ一
不動産價格 千分ノ二十

十一 華族世襲財産ノ創設

不動産價格 千分ノ二十

十二 先取特權ノ保存又ハ取得

債權金額又ハ不動産
工事費用豫算金額 千分ノ六

但シ債權金額ナキトキ又ハ先取特權ノ目的タルモノノ價格カ債權金額ヨリ寡
キトキハ先取特權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

登録稅法

十三 質權、抵當權ノ取得

債權金額

千分ノ六

但シ債權金額ナキトキ又ハ質權抵當權ノ目的タルモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ質權抵當權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

十四 競賣、強制管理ノ申立

債權金額

千分ノ六

但シ競賣若ハ強制管理ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキ其モノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

十五 假差押、假處分

債權金額

千分ノ四

但シ假差押假處分ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

十六 抵當アル債權ノ差押

債權金額

千分ノ六

但シ差押ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

十七 相續財産ノ分離

所有權ニ付テハ

不動産價格

千分ノ六

所有權以外ノ權利ニ付テハ

不動産價格

千分ノ一

十八 請求又ハ申立ニ因リ抹消セラレタル登記ノ回復

不動産每一箇

金二十錢

不動産每一箇

金二十錢

十九 假登記

二十 (削除)

二十一 附記登記

不動産每一箇

金十錢

但シ一件ニ付稅額金三十錢ヲ超ユルトキハ三十錢トス

二十二 登記ノ更正、變更又ハ抹消

不動産每一箇

金十錢

但シ一件ニ付稅額金三十錢ヲ超ユルトキハ三十錢トス

第一號乃至第四號ノ場合ニ於テ共有物特分ノ取得ニ係ルモノハ其持分ノ價格ニ依ル

第三條 船舶ニ關スル登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ三

二 第一號以外ノ家督相續又ハ遺産相續ニ因ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ三

三 遺言、贈與其他無償名義ニ因ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ二十

四 第一號乃至第三號以外ノ原因ニ因ル所有權ノ取得 船舶價格 千分ノ十五

五 從來保有セル所有權ノ保存 船舶價格 千分ノ一

六 賃借權ノ取得 船舶價格 千分ノ一

存續期間十年未滿 船舶價格 千分ノ一
存續期間十年以上 船舶價格 千分ノ二

存續期間ノ定メナキモノ 船舶價格 千分ノ一

但シ權利移轉ニ因ル場合ニ於テハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ
其ノ殘期ヲ以テ存續期ト看做シ登録稅ヲ計算ス

七 質權、抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ六

但シ債權金額ナキトキ又ハ質權抵當權ノ目的タルモノノ價格カ債權金額ヨリ
寡キトキハ質權抵當權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

八 競賣ノ申立 債權金額 千分ノ六

但シ競賣ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ
以テ債權金額ト看做ス

九 假差押、假處分 債權金額 千分ノ四

但シ假差押ヘ假處分ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモ
ノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

十 抵當アル債權ノ差押

債權金額

千分ノ六

但シ差押ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス

十一 請求、又ハ申立ニ因リ抹消セラレタル登記ノ回復

船舶每一箇

金二十錢

十二 假登記

船舶每一箇

金二十錢

十三 (削除)

十四 附記登記

船舶每一箇

金十錢

但シ一件ニ付キ税額三十錢ヲ超ユルトキハ三十錢トス

十五 登記ノ更正、變更又ハ抹消

船舶每一箇

金十錢

但シ一件ニ付税額金三十錢ヲ超ユルトキハ三十錢トス

第一號乃至第四號ノ場合ニ於テ共有物持分ノ取得ニ係ルモノハ其價格ニ依ル

第三條ノ二 鐵道抵當原簿ニ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 抵當權ノ取得

債權金額

千分ノ一

二 強制競賣、強制管理ノ申立

債權金額

千分ノ一

三 登録ノ更正、變更又ハ抹消

每一件

金二圓

第三條ノ三 工場財團登記簿ニ登記ヲ受ルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 抵當權ノ取得

債權金額

千分ノ一

二 強制競賣、強制管理ノ申立

債權金額

千分ノ一

三 假差押、假處分

債權金額

千分ノ一

四 登記ノ更正、變更又ハ抹消

每一件

金二圓

第三條ノ四 鑛業財團登記簿ニ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 抵當權ノ取得

債權金額

千分ノ一

二 強制競賣、強制管理ノ申立

債權金額

千分ノ一

登録税法

三 假差押、假處分 債權金額 千分ノ一
 四 登記ノ更正、變更又ハ抹消 債權金額 千分ノ一

第四條 船籍ノ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

- 一 新規登録 每十噸 金五十錢
- 二 轉籍 每十噸 金十錢
- 三 除籍 每十噸 金五錢
- 四 登録ノ變更 船舶每一箇 金十錢

船舶ノ噸數ハ總噸數ニ依ル但シ十噸未滿ノ端數ハ十噸トシテ計算ス
 石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ在テハ積石數百石ヲ十噸トシテ計算ス

第五條 土地臺帳ニ左ノ事項ヲ登録スルトキハ土地所有者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ

納ムヘシ

- 一 新規登録 地價 千分ノ二十

- 二 地價ノ設定 地價 千分ノ十
- 三 地價修正 地價 千分ノ十
- 四 開墾 地價 千分ノ十
- 五 開墾繳下年期付與 地價 千分ノ十
- 六 地價据置年期付與 地價 千分ノ十
- 七 新開免租年期延長 地價 千分ノ十
- 八 繳下年期、地價据置年期ノ延長 地價 千分ノ十
- 九 抵價年期付與 地價 千分ノ十
- 十 地租條例第二十二條ノ地價ノ修正 地價 千分ノ一
- 十一 地價ノ復舊 地價 千分ノ一

本條中地價未設定ノ土地ハ近傍類地地價ノ比準ニ依ル

第六條 商事會社其ノ他營利ヲ目的トスル法人ニシテ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ

登録稅法

從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ但シ第一號第三號第六號第九號ノ場合ニ於テ稅金額十圓未滿ナルトキハ十圓トス

- 一 合名會社、合資會社設立
財產ヲ目的トスル
出資ノ價格
千分ノ三
- 二 合名會社、合資會社出資増加
財產ヲ目的トスル
増出資ノ價格
千分ノ三
- 三 株式會社設立
拂込株金額
千分ノ四
- 四 株式會社資本増加
増資拂込株金額
千分ノ四
- 五 株式會社第二回以後ノ株金拂込
毎回拂込株金額
千分ノ四
- 六 株式會社合資會社設立
拂込株金額及財產ヲ目的トスル
株金以外ノ出資價格
千分ノ四
- 七 株式合資會社資本増加
増資拂込株金額及財產ヲ目的トスル
株金以外ノ出資價格
千分ノ四
- 八 株式合資會社第二回以後ノ株金拂込
毎回拂込株金額
千分ノ四
- 九 合併又ハ組織變更ニ因ル會社ノ設立

- 十 合併ニ因ル會社資本ノ増加
拂込株金額及財產ヲ目的トスル
株金以外ノ出資價格、
増資拂込株金額及財產ヲ目的トスル
株金以外ノ出資ノ價格
千分ノ一
- 十一 債券發行
債券總金額
千分ノ一
- 十二 支店設置
每一箇所
金十圓
- 十三 本店又ハ支店ノ移轉
每一件
金五圓
- 十四 支配人ノ選任又ハ代理權ノ消滅
每一件
金五圓
- 十五 登記事項ノ變更消滅又ハ廢止
每一件
金五圓
但シ商法施行法ニ依リ新ニ登記スヘキ事項ノ登記ハ登記事項ノ變更ト看做ス
- 十六 登記更正又ハ抹消
每一件
金五圓
- 十七 解散
每一件
金三圓
- 十八 請算人ノ撰任、解任又ハ變更
每一件
金一圓
- 十九 請算ノ結了
每一件
金一圓

登錄稅法

支店所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件一圓ノ登録税ヲ納ムヘシ
財團法人又ハ營利ヲ目的トセサル社團法人ニシテ登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從
ヒ登録税ヲ納ムヘシ

- 一 法人ノ設立(民法施行法ニ依リ法人ト認メラレタルモノノ新ニ受クル登記トモ)
每一件 金五圓
- 二 法人設立後ノ事務所設置
每一件 金三圓
- 三 事務所ノ移轉
每一件 金二圓
- 四 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止
每一件 金一圓
- 五 登記ノ更正、又ハ抹消
每一件 金一圓
- 六 解散
每一件 金五十錢
- 七 請算人ノ選任、解任又ハ變更
每一件 金五十錢
- 八 請算ノ結了
每一件 金五十錢

第六類 登録税法

主タル事務所ニアラサル事務所所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件金
五十錢ノ登録税ヲ納ムヘシ

第六條ノ二 左ノ事項ニ付登記ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

- 一 商號ノ新設又ハ所得
每一件 金五圓
- 二 支配人選任又ハ代理權ノ消滅
每一件 金五圓
- 三 船舶管理人ノ選任又ハ代理權ノ消滅
每一件 金五圓
- 四 商法第五條第七條ニ依ル登記
每一件 金二圓
- 五 民法第七百九十四條第七百九十五條及第七百九十七條ニ依ル登記
每一件 金二圓
- 六 登記事項ノ變更消滅又ハ廢止
每一件 金一圓
- 七 登記ノ變更又ハ抹消
每一件 金一圓

登録税法

支店所在地ニ於テ前項各號ノ登記ヲ受クルトキハ每一件金五十錢ノ登録税ヲ納ムヘシ

第七條 左ノ事項ニ付キ辯護士名簿ニ登録ヲ請フ者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 新規登録 金二十圓

二 登録換 金十圓

三 取消ノ請求 金一圓

第八條 左ノ事項ヲ官簿ニ登録スルトキハ醫師、藥劑師、獸醫、蹄鐵工ハ左ノ區別ニ

從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 新規登録

醫師 金二十圓

藥劑師 金十二圓

獸醫 金十二圓

第六類 登録税法

蹄鐵工 金五圓

假開業醫師 金五圓

假免許獸醫 金三圓

假免許蹄鐵工 金一圓

二 登録事項ノ變更 每一件 金五十錢

第九條 左ノ事項ヲ官簿ニ登録スルトキハ海員ハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 新規登録

甲種船長 金十五圓

甲種一等運轉士 金十圓

甲種二等運轉士 金六圓

乙種船長 金十圓

登録税法

乙種一等運轉士

金四圓

乙種二等運轉士

金三圓

丙種船長

金六圓

丙種運轉士

金二圓

機關長

金十五圓

一等機關士

金十圓

二等機關士

金六圓

三等機關士

金三圓

水先人

金二十圓

二 登錄事項ノ更變

每一件

金五十錢

第十條 著作權ノ登錄ヲ請フ者ハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 文藝、學術美術ノ著作物

每一種一回

金十圓

但シ演劇脚本及寫真ヲ除ク

一 新聞紙及定期刊行物

每一號

金五十錢

第六類 登錄稅法

一 演劇脚本

每一種一回

金五十圓

一 寫真

每一版

金五圓

一 著作權讓渡シ又ハ質入

每一件

金五圓

一 無名又ハ變名著作物ノ著作權ノ實名登錄

每一件

金五圓

第十一條 特許ニ關シ登錄ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 讓渡又ハ共有

每一件

金十圓

二 質入

每一件

金五圓

第十二條 意匠ニ關シ登錄ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登錄稅ヲ納ムヘシ

一 讓渡又ハ共有

物品一類毎ニ 金二圓

二 質入

物品一類毎ニ 金一圓

第十二條ノ二 實用新案ニ關シ登録ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 讓渡又ハ共有

每一件 金五圓

二 實施ノ許諾又ハ質入

每一件 金二圓

第十三條 商標ニ關シ左ノ事項ノ登録ヲ受クル者ハ左ノ登録稅ヲ納ムヘシ

讓リ渡又ハ共有

商品一類毎ニ 金十圓

第十四條 鑛業權ニ關シ鑛業原簿ニ登録ヲ受クトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

シ

一 試掘權ノ設定

每一件 金七十五圓

二 試掘權ノ變更

増區又ハ増減區

每一件 金三十五圓

減區

每一件 金十圓

三 試掘權ノ移轉

相續

每一件 金十圓

相續以外ノ原因ニ因ル移轉

每一件 金三十五圓

第六類 登録稅法

四 採掘權ノ設定

新規登録

每一件 金百五十圓

鑛區合併

每一件 金五十圓

鑛區分割

設定鑛區 每一箇 金五十圓

五 採掘權ノ變更

鑛區訂正

每一件 金五十圓

増區又ハ増減區

每一件 金七十五圓

減區

每一件 金二十圓

登録稅法

六 探掘權ノ移轉

相續

相續以外ノ原因ニ因ル移轉

每一件

金七十五圓

七 抵當權ノ設定

新規登録

債權金額

千分ノ六

鑛業法第三十五條第二項ニ基キ爲シタル承諾及協定ニ因ル設定

每一件

金五圓

八 順位ノ變更ニ因ル抵當權ノ變更

每一件

金十圓

九 抵當權ノ移轉

相續

每一件

金五圓

相續以外ノ原因ニ因ル移轉

每一權

金十圓

十 共同鑛業權者ノ脱退

每一權

金五圓

十一 滯納處分以外ノ原因ニ因ル鑛業權又ハ抵當權ノ處分ノ製限

債權金額

千分ノ四

十二 廢業ニ因ル鑛業權ノ消滅

每一件

金五圓

十三 登録ノ更正變更又ハ抹消

每一件

金十錢

債權金額ニ因リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額ナキトキハ債權ノ目的タルモノノ價額ヲ以テ債權金額ト看做ス

第六類 登録稅法

第十五條 (削除)

第十六條 國債ノ登録ヲ請フ者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 新規登録

債權金額

千分ノ二

二 登録變更

債權金額

千分ノ一

三 登録除却

債權金額

千分ノ一

登録稅法

第十七條 登録税ハ印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ但シ勅令ノ定ムル所ニ依リ現金ヲ以テ之
レヲ徴收スルコトヲ得

第十八條 登録税ハ總テ金一錢以上トス一錢未満ノ端數ハ一錢トシテ之レヲ計算ス

第十九條 左ニ掲クルモノニハ登録税ヲ課セス

一 政府自己ノ爲ニスル登記

二 府縣郡市町村其ノ他公共團體ニ於テ公用ニ供スル不動産ノ登記

三 社寺堂宇ノ敷地及墳墓地ニ係ル登記

四 明治六年第十八號布告地所地質入書入規則及同八年第四百十八號布告建物書入
質規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付テ債權者ヨリ申請スル登記

第十九條ノ二 登記所ニ於テ登記申請者ノ申告シタル課税標準ノ價格ヲ不當ト認ムル
トキハ二名ノ評價人ヲ選定シ之ヲ評價セシム評價一致セサルトキハ其ノ平均ヲ以テ
之ヲ定ム

前項ノ評價申請價格ヨリ多キトキハ評價人ニ給スル旅費手當ハ登記申請者ノ負擔ト
ス

官吏及當該事件ニ利害ノ關係ヲ有スル者ハ評價人トナルコトヲ得ス

第二十條 本法ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行

第二十一條 現行法律命令ニ規定スル登記料又ハ手数料等ニシテ本法ニ規定スル登録

税ト重複スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第六類 登録税法

○登録税法施行規則 (明治三十二年五月十八日勅令第二百五十五號)

第一條 印紙ヲ以テ納ムル登録税ハ登録ニ關スル書類ニ收入印紙ヲ帖用シテ之ヲ納ム
ヘシ

第二條 登録税額五百圓以上ナルトキハ稅務署ニ申出テ現金ヲ以テ納ムルコトヲ得

第三條 官廳又ハ公署ヨリ登記又ハ假登記ヲ登記所ニ囑託スヘキ場合ニ於テハ登録税

ヲ納ムヘキ者其ノ官廳又ハ公署ニ相當印紙又ハ現金ノ領收證ヲ提出シ其ノ官廳又ハ公署ハ登記囑託書ニ其印紙ヲ貼用シ又ハ其證書ヲ添付シテ登記所ニ送附ス

第四條 土地臺帳ノ登録ニ付登録稅ヲ納ムヘキ場合ニ於テ書類ヲ提出セサルトキハ稅務署ノ通知ニ依リ相當印紙又ハ現金ノ領收證ヲ稅務署ニ提出スヘシ

第五條 土地臺帳ノ登録ニ付登録稅ヲ納ムヘキ場合ニ於テ相當印紙ヲ貼用セス若ハ提出セス又ハ現金納付ノ手續ヲ爲ササルトキハ納稅告知書ヲ發シ現金ヲ以テ之ヲ徵收スルコトヲ得

第五條ノ二 管海官廳カ船舶法第十四條第二項ニ依リ抹消ノ登録ヲ爲シ其ノ旨稅務署ニ通知シタルトキハ稅務署ハ納稅告知書ヲ發シ現金ヲ以テ登録稅ヲ徵收スヘシ
(三十八年勅令第七十七號ヲ以テ追加)

第六條 登録稅法第十九條ノ二ニ依ル評價人ノ旅費ハ實費トシ手當ハ一日金五十錢以上二圓以下ノ範圍内ニ於テ登記所ノ見込ヲ以テ之ヲ支給ス

登録稅法附錄

法律第三號

非常特別稅法

第一條 (前文畧)民事訴訟用印紙ヲ増貼セシム

登録稅

不動産ニ關スル登記

法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得 不動産價格 千分ノ三

法定ノ家督相續以外ノ家督相續又ハ遺産相續ニ因ル所有權ノ取所

不動産價格 千分ノ五

遺言、贈與其他ノ無償名義ニ因ル所有權ノ取得

全 千分ノ十

其他ノ原因ニ依ル所有權ノ取得

千分ノ五

從來保有セル所有權ノ保存

千分ノ三

華族世襲財産ノ創設

千分ノ五

船舶ニ關スル登記

法定ノ家監相續ニ因ル所有權ノ取得

船舶價格

千分ノ二

法定ノ家督相續以外ノ家督相續又ハ遺産相續ニ因ル所有權ノ所得

全

千分ノ五

遺言贈與其他ノ無償名義ニ因ル所有權ノ取得

千分ノ二十

其他ノ原因ニ因ル所有權ノ取得

千分ノ五

從來保有セル所有權ノ保存

千分ノ二

登録稅法第六條及六條ノ二ニ依ル登録稅

課稅標準ノ千分比例ヲ以テ稅率ヲ定メタルモノ

課稅標準

千分ノ一

一ヶ所毎ニ又ハ一件毎ニ稅額ヲ定メタルモノ

稅額金拾圓ナルトキハ

金五圓

同 金五圓ナルトキハ

金二圓

同 金二圓ナルトキハ

金一圓

同 金一圓ナルトキハ

金五拾錢

同 金五拾錢ナルトキハ

金二拾錢

七 登録稅

不動産ニ關スル登記

登録稅法第二條第三號ノ登記

不動産價格

千分ノ二十

登録稅法第二條第四號ノ登記

同

千分ノ十

從來保有セル所有權ノ保存

同

千分ノ三

登録稅率附錄

華族世襲財産ノ創設

同

千分ノ五

船舶ニ關スル登記

船舶價格

千分ノ三十

登録税法第三條第三號ノ登記

登録税法第三條第四號ノ登記

從來保有セル所有權ノ保存

登録税法第六條及第六條ノ二ニ依ル登録税

課税標準ノ千分比例ヲ以テ税率ヲ定メタルモノ

課税標準

千分ノ一

一ヶ所毎ニ又ハ一件毎ニ税額ヲ定メタルモノ

税額金十圓ナルトキハ

金五圓

同 金五圓ナルトキハ

金二圓

同 金三圓ナルトキハ

金二圓

同 金二圓ナルトキハ

金一圓

同 金一圓ナルトキハ

金五十錢

同 金五十錢ナルトキハ

金二十錢

印紙税法

(明治二十二年三月九日
法律第五十四號)

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル印紙税法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

印紙税法

第一條 財産權ノ創設移轉變更若ハ消滅ヲ證明スヘキ證書帳簿及ヒ財産權ニ關スル追認若ハ承認ヲ證明スヘキ證書ヲ作成スル者ハ此ノ法律ニ依リ印紙稅ヲ納ムヘシ

第二條 證書ニ關シテハ一通毎ニ其ノ記載金高五圓以上ノモノニ限リ記載金高一萬分ノ五ノ割合ヲ以テ印紙稅ヲ納ムヘシ但シ印紙稅額五十圓トナルトキハ五十圓ニ止メ一錢未滿トナリ又ハ一錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ一錢ニ切上クルモノトス

金高記載ナキモ證書面ニ標記シアル價格ノ單位又ハ其ノ他ノ記載事項ニ依リ其ノ金高ヲ算出スルコトヲ得モノハ其ノ總金額ヲ以テ記載金高ト看做ス

第三條 (三十四年法律第十六號ヲ以テ削除)

第四條 左ニ掲クル證書帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シ下ニ定ムル所ノ印紙稅ヲ納ム可シ

- 一 委任狀 印紙稅一錢
- 一 爲替手形 印紙稅二錢(同上ヲ以テ本號追加)
- 一 約束手形 印紙稅二錢(同上)
- 一 銀行預金證書 印紙稅二錢
- 一 船荷證券 印紙稅二錢
- 一 運送貨物引換證 印紙稅二錢
- 一 倉荷預證券 印紙稅二錢
- 一 倉荷質入證券 印紙稅二錢
- 一 保險證券 印紙稅二錢
- 一 株券 印紙稅二錢

- 一 債券 印紙稅二錢
- 一 株式申込證 印紙稅二錢
- 一 地上權、永小作權、地役權ニ關スル證書 印紙稅二錢
- 一 使用貸借、賃貸借、雇傭、寄託ニ關スル契約證書 印紙稅二錢
- 一 定款及組合契約書 印紙稅二錢
- 一 權利ノ變更ニ關スル證書 印紙稅二錢
- 一 追認、承認ニ關スル證書 印紙稅二錢
- 一 物品切手 印紙稅二錢
- 一 賣買仕切書 印紙稅二錢
- 一 送狀 印紙稅二錢
- 一 受取證 印紙稅二錢
- 一 金高記載ナキ證書 印紙稅二錢

印紙稅規

一 擔保品差入證書擔保品預證書

印紙稅二錢

一 通帳

印紙稅二錢

一 判取帳

印紙稅二十錢

第五條 左ニ掲クル證書帳簿ニ關シテハ印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セス

一 官廳又ハ公署ヨリ發スル證書帳簿

一 官廳公署ニ職ヲ奉スル者ノ職務上發スル證書帳簿

一 國庫金ノ取扱ニ關シ發スル證書

一 慈善又ハ公共事業ノ爲メニスル金員物件ノ寄附ニ關シ人民ヨリ官廳若ハ公署ニ提出スル證書

一 俸給給料歲費手當金賞與金年金恩給金扶助料旅費及救恤金ノ受取書

一 小切手

一 金高五圓未滿ノ爲替手形約束手形

一 營業ニ關セサル受取書

一 金高五圓未滿若ハ金高記載ナキ送狀受取證書又ハ賣買仕切書

一 主タル債務證書ニ併記シタル擔保契約

一 證券ノ裏面及手形ノ裏面ニ記載シタル受取書

一 株券債券ノ讓渡ヲ證明スヘキ裏面記載

一 手形引受保證

一 手形及證券ノ拒絕證書

一 手形及證券ノ複本謄本

第六條 印紙稅ハ證書帳簿ニ印紙ヲ貼用シテ納ムルモノトス但シ印紙稅額ニ相當スル

現金ヲ政府ニ納付シテ稅印ノ押捺 受ケ印紙貼用ニ代フルコトヲ得(三十四年法律

第十六號ヲ以テ條中削除)

第七條 一冊ノ帳簿ヲ一年以上使用スルトキハ別帳簿ヲ調製シタルモノト看做ス

印紙稅法

五

四

第八條 證書ニ外國貨幣ヲ以テ其數ヲ記載スルトキハ内國貨幣ニ換算シタル金高ニ相當スル印紙ヲ貼用スヘシ

第九條 印紙ヲ貼用スルトキハ證書又ハ帳簿ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニカケテ證書又ハ帳簿作成者ノ印章又ハ署名ヲ以テ判明ニ之ヲ消スヘシ

第十條 印紙ヲ貼用スヘキ帳簿買賣仕切書送狀ハ當該官吏之ヲ検査スルコトアルヘシ

第十一條 證書帳簿ニ相當印紙ヲ貼用セス又ハ第六條但書ニ依リ税印ノ押捺ヲ受ケサル者ハ脱税高二十倍ノ科料又ハ罰金ニ處ス

第十二條 第十條ノ検査ヲ拒ミタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 第九條ニ違背シタル者ハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十四條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不論罪減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用キス

附則

第十五條 此ノ法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

第十六條 明治十七年第十一號布告證券印税規則ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

第十七條 明治十七年第十一號布告證券印税規則ニ依ル手形用紙ニシテ此ノ法律施行ノ際自用者ノ所持ニ係ルモノハ此ノ法律施行後ニ於テモ仍之ヲ使用スルコトヲ得但シ手形用紙記載ノ税金高以上ニ之ヲ使用セシムルトキハ其ノ不足額ハ印紙ヲ貼用シテ之ヲ補足スヘシ

非常特別税法

第一條 臨時事件ニ因リ生シタル經費ヲ支辨スル爲メ本法ニ依リ租税ヲ増徴シ若ハ賦課シ又ハ印紙ヲ増貼シ若ハ貼用セシム(三十八年法律第一號ヲ以テ改正)

第二條 左ニ掲クル租税ニ付テハ關係法規ノ定メタル税額ノ外左ノ割合税額ヲ増徴ス

十二項 印紙税

印紙税法第四條ニ掲ケタル證書帳簿但シ約束 印紙税金一錢
手形判取ヲ除ク 印紙税法

判取帳

印紙税金五錢

約束手形

金高千圓以下

印紙税金一錢

金高五千圓以下

印紙税金四錢

金高一萬圓以下

印紙税金十三錢

金高二萬圓以下

紙税金二十八錢

金高三萬圓以下

印紙税金五十八錢

金高五萬圓以下

印紙税金一圓十八錢

金高十萬圓以下

印紙税金二圓三十八錢

金高十萬圓ヲ超ユルモノ

印紙税金四圓九十八錢

執達吏規則 (二十一年三月十一日實施)

第一條 執達吏ハ區裁判所ニ屬シ法律ニ從ヒ訴訟ニ關スル書類ヲ送達シ及ヒ裁判ヲ執行スルモノトス

第二條 執達吏ハ當事者ノ委任ニ依リ左ノ事務ヲ取扱フコトヲ得

第一 告知及ヒ催告ヲ爲スコト

第二 動産動産ノ任意競賣ヲ爲スコト

第三 拒證書ヲ作ルコト

第三條 執達吏ハ法律規則ニ定メタル職務ノ外裁判所及檢事局ノ命令ニ依リ其職務ニ應スル事務殊ニ左ノ事務ヲ取扱フノ義務アリ

第一 書類物品ノ送付ヲ爲スコト

第二 罰金科料ヲ徵收シ及沒收物品ヲ取上ケ若クハ賣却スルコト

執達吏規則

第三 令狀ノ執行ヲ爲スコト

第四條 執達吏ハ所屬區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ノ監督ヲ受ク

他ノ判事又ハ檢事ニシテ職務上事務ヲ命シタルトキハ其事務ニ限り執達吏ニ對シ監督權ヲ有ス

第五條 執達吏ハ所屬區裁判所所在地ニ住居ヲ定ム可シ但地方裁判所長ノ許可ヲ得タルトキハ其區裁判所管内ニ限り他ノ地ニ住居ヲ定ムルコトヲ得

第六條 執達吏ハ所屬區裁判所所在地ニ役場ヲ設ク可シ

第七條 一區裁判所ニ於テ數名ノ執達吏アルトキハ裁判所及檢事局ノ命令ニ依ル事務ト裁判所書記ヲ經テ委任スヘキ事務トヲ各執達吏ニ分配スヘシ此分配ハ成ルヘク土地ノ區域ニ從フ可シ

事務分配ハ毎司法年度ノ終リニ於テ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事前以テ之ヲ定ム

執達吏ノ爲シタル事務ハ事務分配上其事務他ノ執達吏ニ屬シタリトノ事實ツミニ因リ其効力ヲ失フコトナシ

第八條 執達吏ハ左ノ場合ニ於テハ其職務ノ施行ヨリ除斥セラルヘシ

第一 自己又ハ其婦カ當事者若クハ被害者タルトキ又ハ當事者ノ一方若クハ双方又ハ被害者ト共同權利者共同義務者若クハ償還義務者タルノ關係ヲ有スルトキ

第二 自己又ハ其婦カ當事者ノ一方若クハ双方又ハ被害者又ハ其配偶者ト親族ナルトキ

第三 自己カ同一ノ事件ニ付證人若クハ鑑定人ト爲リテ訊問ヲ受クルトキ又ハ法律上代理人ト爲ルノ權利ヲ有スルトキ若クハ之ヲ有シタルトキ

第九條 執達吏ハ民事訴訟ニ付テ其婦又ハ自己若クハ其婦ノ親族ノ爲メニ訴訟代理人及補佐人トシテ法廷ニ出ルコトヲ得但姻族ニ付テハ婚姻ノ解除シタルトキト雖亦同シ

第十條 執達吏ハ其職務ヲ行フヘキ命令若クハ委任ヲ受クルトキハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十一條 執達吏ハ特別ノ命令若クハ委任ヲ受ケタル場合ノ外自己ノ責任ヲ以テ左ニ掲クル者ニ臨時其職務ノ執行ヲ委任スルコトヲ得

第一 執達吏登用試験ニ及第シタル者

第二 執達吏ノ其職務ヲ修習シタル者

第三 裁判所書記ノ登用試験ニ及第シタル者

第四 區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ニ於テ臨時執達吏ノ職務ヲ行フニ適當ナリト認メタル者

第十二條 執達吏正當ノ理由アリテ其職務ヲ行フコトヲ得サル時又ハ之ヲ委任スルコトヲ得サルトキハ命令ヲ爲シタル裁判所及檢事局又ハ委任ヲ爲シタル本人ニ速ニ其旨ヲ通知スヘシ

委任ヲ爲シタル本人ニ通知スルコト能ハサルトキ又ハ急速ノ處分ヲ要スルトキハ其旨ヲ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ニ中立ツヘシ

第十三條 前條ノ場合其他執達吏差支アルトキハ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ハ申立ニ困リ又ハ職權ヲ以テ第十一條ニ掲クル者ニ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十四條 執達吏ハ一定ノ制服ヲ着スヘシ臨時職務ノ執行ヲ受ケタルモノハ區裁判所ヨリ交付スヘキ鑑札ヲ携帯スヘシ

第十五條 執達吏ハ裁判所書記ヲ經タルト否トヲ問ハス委任ヲ受ケ職務ヲ行フニ付テ定規ノ手数料ヲ受ケ及立替金ノ辨濟ヲ受ク執達吏ハ定規ノ手数料ヲ増減シ又ハ手数料又立替金ノ外報酬ヲ受クルコトヲ得ス

第十六條 執達吏第十三條ニ掲クル職務ヲ行フニ付テハ立替金ノ外手数料ヲ受クルコトヲ得ス

第十七條 執達吏第十一條ノ場合ニ於テ臨時職務執行ノ委任ヲ爲シタルトキハ其委任ヲ受ケタル者ニ報酬トシテ手数料十分ノ三ヲ支給スヘシ

第十八條 第十三條ノ場合ニ於テ臨時執達吏ノ職務ヲ行ヒタルモノハ其職務ニ付定メタル手数料ヲ受ケ及立替金ノ辯濟ヲ受ク

第十九條 執達吏一年間ニ收入セシ手数料百八十圓ニ充タサルトキハ國庫ヨリ其不足額ヲ支給ス

第二十條 執達吏死シタルトキ又ハ停職免職若クハ拘留セラレタルトキ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ハ左ノ處分ヲ爲スヘシ

第一 官印帳簿其他職務ニ關スル書類ヲ區裁判所ニ差出サシムルコト
第二 執達吏職務上保管シタル物品及書類ノ保全ニ必要ノ手續ヲ爲スコト

第二十一條 執達吏ハ官吏恩給法ニ照シ恩給ヲ受ケ其恩給年額ハ第十九條ニ定メタル金額ヲ俸額ト看做シテ算定ス

第二十二條 執達吏ハ此規則ニ依ルノ外總テ一般官吏ノ例ニ依ル

附則

第二十三條 執達吏ヲ置カサル間ハ區裁判所書記執達吏ノ職務ヲ行フ此ノ場合ニ於テハ自己ノ責ヲ以テ第十一條ニ掲クル者又ハ自己ノ適當ト思量スル者ニ臨時其財務ノ執行ヲ委任スルコトヲ得

裁判所書記前項ノ委任ヲナシタルトキハ委任ヲ受ケタル者ニ執達吏ノ職務ニ付定メタル手数料十分ノ七以上ヲ支給スヘシ

執達吏手数料規則

執達吏手数料規則

第一條 執達吏ハ此規則ニ從ヒ手数料ヲ受ク
第二條 書類送達ノ手数料ハ一通ニ付五錢トス

執達吏手数料規則

第三條 有体動産及土地ヨリ離レサル果實並ニ爲替券其他裏書ヲ以テ移轉スルコトヲ得ル證券ノ差押仮差押ニ付テノ手數料ハ左ノ區別ニ從フ

執行スヘキ債權額手數料

二十圓マテ 三十錢 五十圓マテ 五十錢 百圓マテ 七十五錢 二百圓マ

テ 一圓 五百圓マテ 一圓廿五錢 千圓マテ 一圓五十錢

千圓ヲ超ユルトキハ二圓トス

若シ執務三時間以上ニ涉ルトキハ一時間毎ニ本條ニ定メタル手數料ノ十分ノ三ヲ加フ但其執務一時間ト看做シテ算定ス

第四條 執達吏差押仮差押ヲ爲ス場所ニ臨ムト雖差押フヘキ物ナキトキ又差押フヘキ物ヲ換價スルモ強制執行ノ費用ヲ償フテ剩餘ヲ得ル見込ナキトキハ前條ニ定メタル手數料ノ半額ヲ受ク

第五條 民事訴訟法第五百五十六條條第二項 第五百八十六條第二項 第六百十五條ノ

場合及ヒ既ニ差押、假差押ニ着手シタル執達吏ノ死亡若クハ其他ノ理由ニ依リ委任ノ消滅シタルトキ物ヲ換價スル爲其委任ヲ引受ケタル場合ニ於テハ執達吏ハ第三條ニ定メタル手數料ノ半額ヲ受ク

第六條 特定ノ動産又ハ代替物ノ一定ノ數量ヲ債務者ヨリ取上ケ之ヲ債權者ニ引渡ス場合ニ於テハ其手數料ヲ五十錢トス若シ執務二時間以上ニ涉ルトキハ一時間毎ニ五十錢ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス

前項ノ場合ニ於テ執達吏其場所ニ臨ムト雖トモ引渡スヘキモノナキトキハ前項ニ定メタル手數料ノ半額ヲ受ク

第七條 民事訴訟法第七百三十一條第一項ノ場合ニ於テハ執務三時間以内ハ手數料ヲ五十錢トス若シ其執務三時間以上ニ涉ルトキハ一時間毎ニ二十五錢ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス

前項ノ場合ニ於テ執達吏其場所ニ臨ムト雖トモ船舶アラサルトキハ前項ニ定メタル

手数料ノ半額ヲ受ク

第八條 民事訴訟法第六百四十三條第三項ニ依リ不動産ノ取調ヲ爲ス場合ニ於テハ第

三條ニ定メタル區別ニ從ヒ其手数料ヲ受ク

第九條 動産不動産及船舶ノ競賣ニ付テノ手数料ハ左ノ區別ニ從フ但競賣ニ依リタル

金額執行スヘキ債權額ニ超過スルトキハ其債權額ヲ以テ競賣金額ト看做ス

競賣金額 手数料

二十圓マテ 六十錢 五十圓マテ 一圓 百圓マテ 一圓五十錢 二百五十

圓マテ 二圓 五百圓マテ 二圓五十錢 千圓マテ 四圓

ニ上千圓毎ニ一圓ヲ加フ

任意競賣ニ付テモ亦前項ニ同シ

第十條 執達吏執行行爲ヲ爲スヘキ場所ニ臨マサル以前ニ民事訴訟法第五百五十條ニ

依リ又ハ委任ノ消滅ニ依リ強制執行ヲ止メタルトキ又ハ支拂若クハ引渡ニ依リ強制

執行ノ委任終了シタルトキハ各本條ニ定メタル手数料ノ十分ノ三ヲ受ク但第九條ノ

場合ニ於テハ其手数料ヲ三十錢トス

第十一條 執達吏執行行爲ヲ爲スヘキ場所ニ臨ミタル後民事訴訟法第五百五十條ニ依

リ又ハ委任消滅ニ依リ強制執行ヲ止メタルトキ又ハ支拂若クハ引渡ニ依リ強制執行

ノ委任終了シタルトキハ各本條ニ定メタル手数料ノ半額ヲ受ク但第九條ノ場合ニ於

テハ其手数料ヲ五十錢トス

第十二條 第三條乃至第十一條ノ手数料ヲ受クヘキ行爲ニハ強制執行ノ場合ニ於テ左
ノ行爲ヲ包含ス

第一 警察上ノ援助ヲ求メ又ハ證人鑑定人ノ立會ヲ爲サシムルコト

第二 執行行爲ニ屬スル催告其他通知ヲ爲シ又ハ書類ノ送達ヲ爲スコト

第三 記名證券ヲ買主ノ氏名ニ書替ヘ及必要ナル陳述ヲ債務者ニ代リ爲スコト

第四 支拂其他ノ給付、差押金及賣却受取り交付シ若クハ供託シ又ハ受取證書

ヲ交付シ又ハ差押物ヲ還付スルコト

第五 競買ノ公告ヲ爲スコト

第十三條 執達吏ハ立替金トシテ左ノ費用ノ辨濟ヲ受ク

第一 書記料

第二 郵便料、電信料

第三 公告料

第四 證人、鑑定人手當

第五 百工、役夫ノ手當

第六 有價證券ノ記名書換書流通ヲ止メタル證券流通ヲ回復スル爲ノ費用

第七 人及物ノ送致費用

第八 物ノ保存並監視ノ費用

第九 果實收穫ノ費用

第十 旅費

第十四條 前條ノ書記料ハ左ノ場合於テ之ヲ受ク

第一 法律ニ依リ又ハ利害關係人ノ求ニ依リ證書及記録中ニ存スル書類ノ謄本ヲ作
リタルトキ

但法律ニ依リ交付スヘキ送達證書ノ謄本ハ此限リニアラス

第二 供託ヲ爲スニ際シ執行裁判所ニ差出スヘキ届書ヲ作リタルトキ

第三 差押命令ノ送達後第三債務ノ爲ス陳述ヲ筆記シタルトキ
書記料ハ半枚十二行二十字詰ニ付二錢五厘トス但シ十二行ニ滿タサルモ半枚ト看
做シテ算定ス

第十五條 強制執行ニ關セサル告知及催告ヲ爲ストキハ其手數料十錢ヲ受ク

第十六條 執達吏拒證書ヲ作リタルトキハ手數料十錢ヲ受ク

拒者ノ營業場又ハ住居ノ間合ヲ爲シ拒證書ヲ作リタルトキハ手數料二十錢ヲ受ク

第十七條 證人ニ支給スヘキ日給ハ二十錢以下鑑定人ニ支給スヘキ日當ハ五十錢以下トシ執達吏土地ノ情況ニ從ヒ之ヲ支給ス若三里以上ノ地ヨリ呼出シタルトキハ第八條ノ規定ニ從ヒ族費ヲ支給ス

第十八條 執達吏自己ノ役場ヨリ一里以上ノ地ニ至リ職務ヲ行フトキハ一里毎二十條以下ノ旅費ヲ受ク但シ一里ニ滿タサルモ一里ト看做シテ算定ス
右旅費ノ額ハ控訴院長ノ認可ヲ經テ地方裁判所長之ヲ定ム

第十九條 執達吏ハ總テノ事務ヲ擔任スルニ當リ手数料及立替金ノ概算額ヲ委任者ヨリ豫納セシム若シ豫納セサルキハ委任ニ應セサルコトヲ得但裁判所及檢事局ノ命令ニ依ルトキ又ハ訴訟上ノ救助ヲ受ケタル者ノ爲ニ事務ヲ担任スルトキハ此限ニ在ラス
第二十條 執達吏ハ委任ノ終了シタル後手数料及立替金ノ辨濟ヲ受クヘキモノトス但民事訴訟法第五百五十四條ニ規定シタル場合ハ此限ニ在ラス

第二十一條 執達吏裁判所及檢事局ノ命令ニ依リ其職務ヲ行フ爲メニ要シタル立替金

三ヶ月毎ニ確定シテ之ヲ支給ス

右立替金ハ之ヲ國庫ヨリ支辨ス

第二十二條 訴訟上ノ救助ヲ付與シタル場合ニ於テハ執達吏ノ立替金ハ國庫ヨリ支辨ス但債務者ヨリ辨濟シ能ハサル場合ニ限ル

第二十三條 執達吏ハ其職務執行ニ付作リタル書類ノ正本又ハ謄本ニ手数料及立替金ノ額ヲ附記スヘシ又執務時間ニ應シ其辨濟ヲ受クヘキトキハ調書ニ務時間ヲ附記スヘシ若シ之ヲ附記セサルトキハ最短ノ時間ニ付テ定メタル金額ヲ以テ算定ス

76

明治四十年十月七日印刷
明治四十年十月十日發行

定價金壹圓五拾錢

不許
複製

編纂者 肥田健吉

東京市麴町區上六番町二十四番地

發行者 內藤加我

東京市日本橋區本材木町三丁目三番地

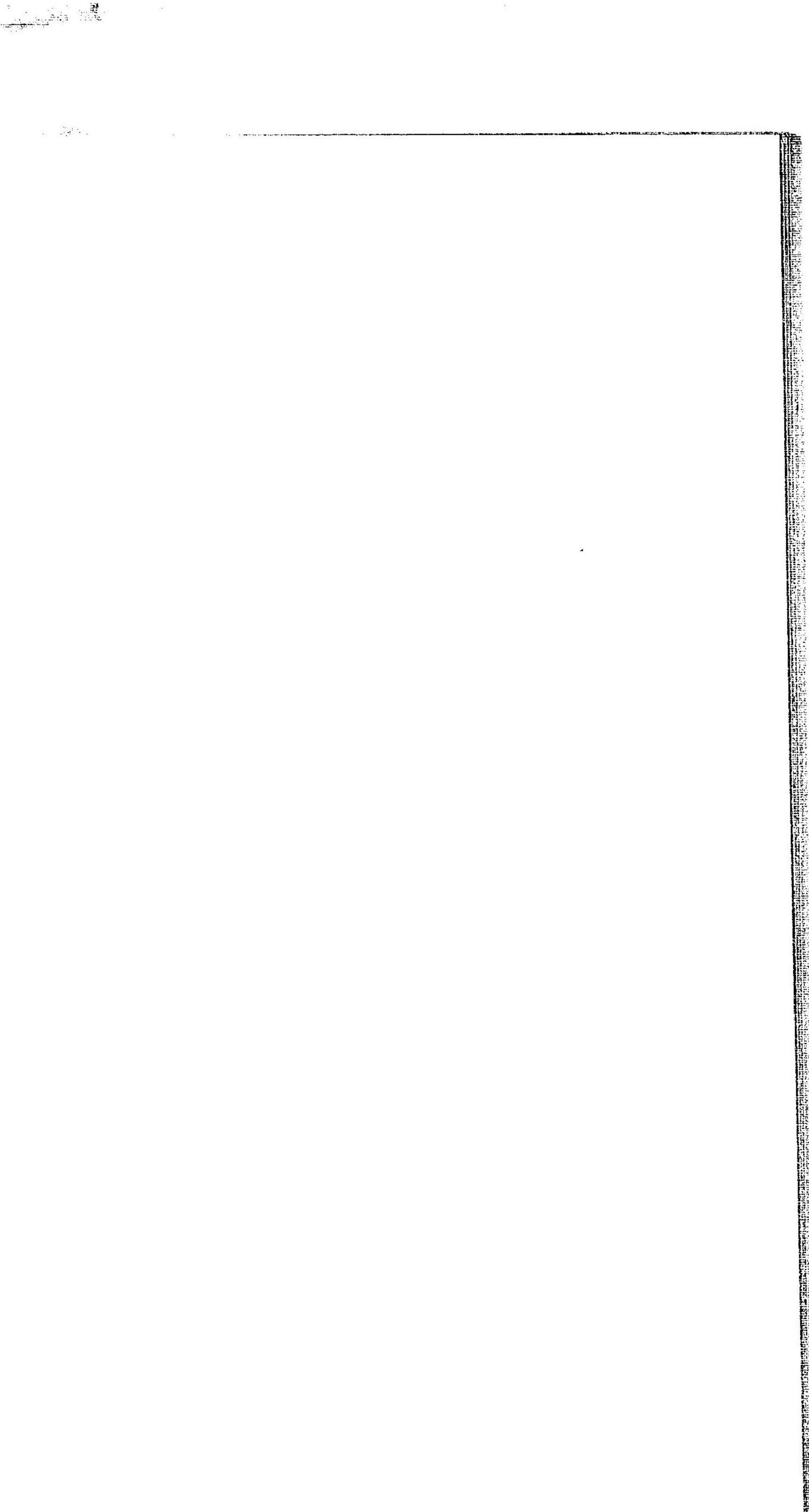
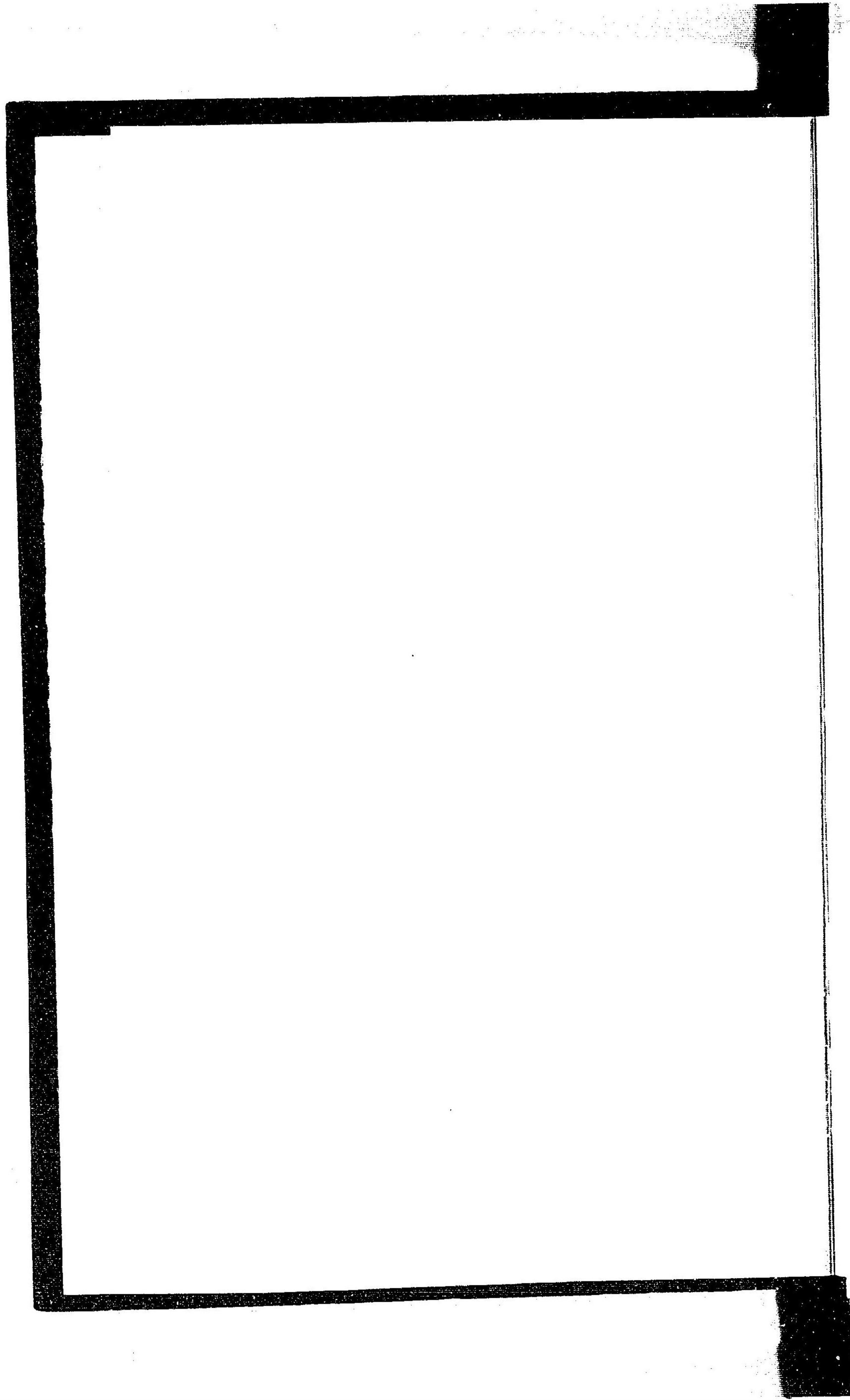
印刷者 橫田五十吉

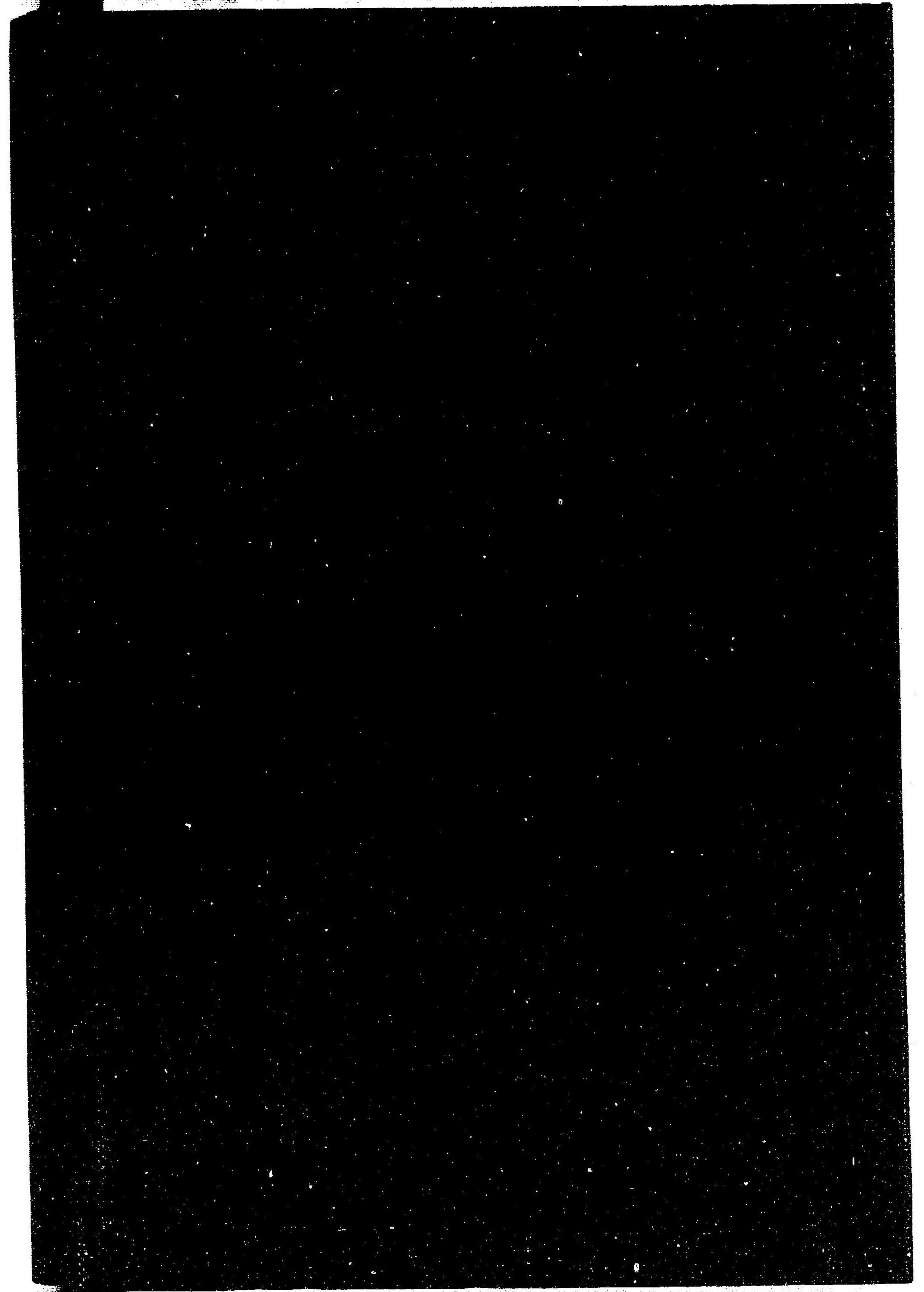
東京市神田區松下町十番地

東京市日本橋區本材木町三丁目三番地

發行所 (電話本局二五四四番) 金櫻堂書店

46





31
419

036774-000-8

31-419

实例民事訴訟法

肥田 健吉 / 編

M40

BBS-0208



